基本計画　重点プログラム
市民アンケート報告書

平成 23 年（2011 年）９月

横須賀市都市政策研究所

は　じ　め　に

横須賀市では、平成 10 年に策定した横須賀市総合計画にもとづき、「国際海の手文化都市」を目指したまちづくりを進めています。

平成 23 年４月からは、市の基本的な政策・施策の体系、政策の目標などを示した、新たな基本計画、実施計画が同時にスタートしました。

本基本計画では計画期間中のなかで、特に重点的・優先的に実行する取り組みとして、持続可能な発展に必要な都市力の向上を目的とした「重点プログラム」を位置付けています。今回 15 歳以上の 2,000 人の方を対象に、重点プログラムの目的、各プログラムが目指す都市像、取り組みの方向性に対する市民の皆さんの実感を伺うアンケート調査を実施しました。

この調査で得られた結果は、重点政策・施策評価や政策展開を検討する上での基礎資料として十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには厚くお礼申し上げます。

平成 23 年（2011 年）９月

横須賀市都市政策研究所

報 告 書 の 見 方

報告書中の集計表は、以下のように処理している。

※回答率（%）は、小数点以下第２位を四捨五入したため、合計が 100%とならない場合がある。

※集計結果における各項目の回答割合の算出は「わからない」「無回答」を除いている。

※DI について

・アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、「DI」（ディフュージョンインデックス　景気動向指数 / 拡散指数）の考え方を利用している。

・DI とは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。マイナス 100 からプラス 100 の間を取る。

今回の設問のうち、

・「現在について」は、DI＝（「①思う」＋「②やや思う」）－（「④あまり思わない」＋「⑤思わない」）の回答割合（%）から算出している。

・「以前との比較」については、（「①よくなっている」＋「②どちらかというとよくなっている」）－（「④どちらかというと悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」）の回答数割合（%）から算出している。

・DI がプラスにあれば、設問に対して良好または改善の傾向、マイナスであれば悪化・停滞の傾向であるとの見方をしている。

目　次

Ⅰ.　調査目的および実施方法等 ･･･ **1**

ⅡⅠ.　調査結果の概要 ･･･ **5**

Ⅲ　集計結果（重点プログラムが目指す都市像と取り組みの方向性の状況） ･･････ **11**

集計結果の見方 ･･･ 11

ⅲ－1　プログラムが目指す都市像（現在の状況）･････････････････････････ 12

ⅲ－2　プログラムが目指す都市像（以前との比較）･････････････････････････ 13

ⅲ－3　各プログラムの取り組みの方向性（現在の状況）　･････････････････ 16

ⅲ－4　各プログラムの取り組みの方向性（以前との比較）･････････････････ 18

Ⅳ　集計結果（プログラム別の状況） ･････････････････････････････････ **21**

重点プログラム１「新しい芽を育む」

－子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成－･････････ 21

（１）プログラム１　全体の傾向･････････････････････････････････････ 21

（２）属性別の傾向･･･ 22

（３）主な回答理由･･･ 28

重点プログラム２「命を守る」

－誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり－･･････････････････ 32

（１）プログラム２　全体の傾向･････････････････････････････････････ 32

（２）属性別の傾向･･･ 33

（３）主な回答理由･･･ 37

重点プログラム３「環境を守る」

－人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり･････････････ 41

（１）プログラム３　全体の傾向･････････････････････････････････････ 41

（２）属性別の傾向･･･ 42

（３）主な回答理由･･･ 48

重点プログラム４「にぎわいを生む」
ー地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくりー ・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
（１）プログラム４　全体の傾向・・ 51
（２）属性別の傾向・・・ 52
（３）主な回答理由・・・ 57

重点プログラム５「地域力を育む」
ー地域と住民の主体性が発揮できる枠組み作り・地域を支えるコミュニティー機能の強化ー ・・・・・ 60
（１）プログラム５　全体の傾向・・ 60
（２）属性別の傾向・・・ 61
（３）主な回答理由・・・ 67

Ⅴ　持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について
ー現在の状況と以前との比較ー・・ 71

Ⅵ　持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について
ー優先して取り組むべき政策ー・・ 77

Ⅶ　横須賀市の魅力やイメージについて
（１）横須賀市の魅力について・・ 82
（２）横須賀市への愛着について・・・ 84
（３）横須賀市のイメージについて・・ 86

Ⅶ　基本的な属性（Ｆ１～Ｆ７）・・ 88

調査票・・ 91

Ⅰ　調査目的および実施方法等

１　調査目的

（１）横須賀市基本計画（2011～2021）に掲げた重点プログラムの目的である「持続可能な発展に必要な都市力（都市の魅力）」の向上や、各プログラムが目指す都市像、取り組みの方向性について、市民の実感を把握し、今後の政策・施策の改善に活用する。

（２）重点政策・施策評価に活用する。

２　調査項目

問１～15 「各重点プログラムが目指す都市像」「都市像を実現するための取り組みの方向性」について 問 16 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について」 問 17 優先して取り組むべき課題について 問 18 横須賀市の魅力について 問 19 横須賀市への愛着について 問 20 横須賀市のイメージについて （現在の都市イメージ・望ましい都市イメージ）	＜基本的な属性＞ Ｆ１　性別 Ｆ２　年齢 Ｆ３　居住地域 Ｆ４　職業 Ｆ５　世帯の状況

３　調査項目と重点プログラムの対応関係

アンケートの調査項目のうち、問１～問 15 は、各重点プログラムが目指す都市像、それを実現するための取り組みの方向性に対応している。

なお、問 16 は、重点プログラムの目的である『持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力)』についての設問で、その現状に対する市民の実感を尋ねる項目となっている。

図表（Ⅰ）1-1　調査項目と基本計画重点プログラムの対応関係

	重点プログラム	対応する設問	取り組みの方向性		対応する設問
1	新しい芽を育む	問 3	1-1	子どもを産み育てやすいまちづくり	問 1
			1-2	人間性豊かな子どもの育成	問 2
2	命を守る	問 6	2-1	誰もが活躍できるまちづくり	問 4
			2-2	安全で安心なまちづくり	問 5
3	環境を守る	問 9	3-1	人と自然が共生するまちづくり	問 7
			3-2	地球環境に貢献するまちづくり	問 8
4	にぎわいを生む	問 12	4-1	地域経済の活性化と雇用の創出	問 10
			4-2	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	問 11
5	地域力を育む	問 15	5-1	地域住民の主体性が発揮される枠組みづくり	問 13
			5-2	地域を支えるコミュニティー機能の強化	問 14

４　調査対象および回収数

調査対象：の横須賀市に在住の 15 歳以上（平成 23 年 4 月 1 日現在）の市民 2,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）

回収数	回収率
７５１件	37．６％

５　実施方法

郵送による発送・回収

なお、回答者に基本計画に掲げた重点プログラムの内容や目標、達成に向けた取り組みを理解してもらうため、参考資料を同封した。

６　実施時期

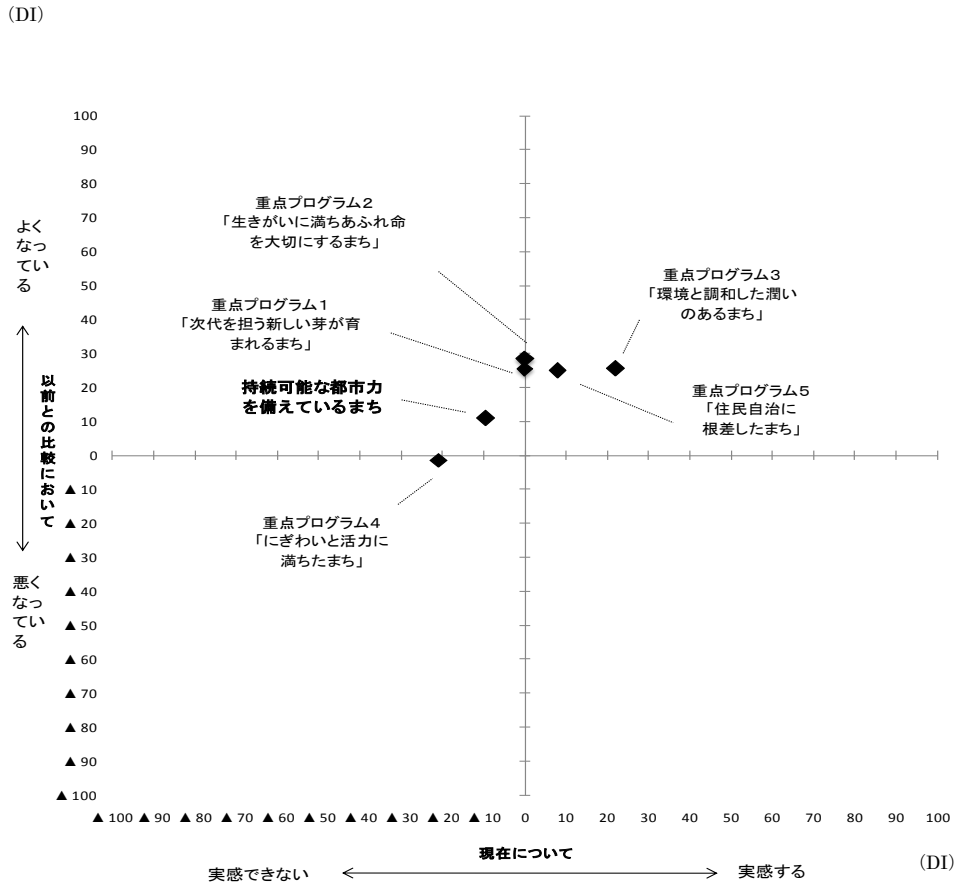
平成 23 年（2011 年） ５月 12 日 ～ ５月 31 日

７　調査の企画・分析

横須賀市都市政策研究所

Ⅱ　調査結果の概要

（１） DIでみた、「重点プログラムの目的」と「各重点プログラムが目指す都市像」の状況
（図表Ⅱ-１「現在について」と「以前との比較」）

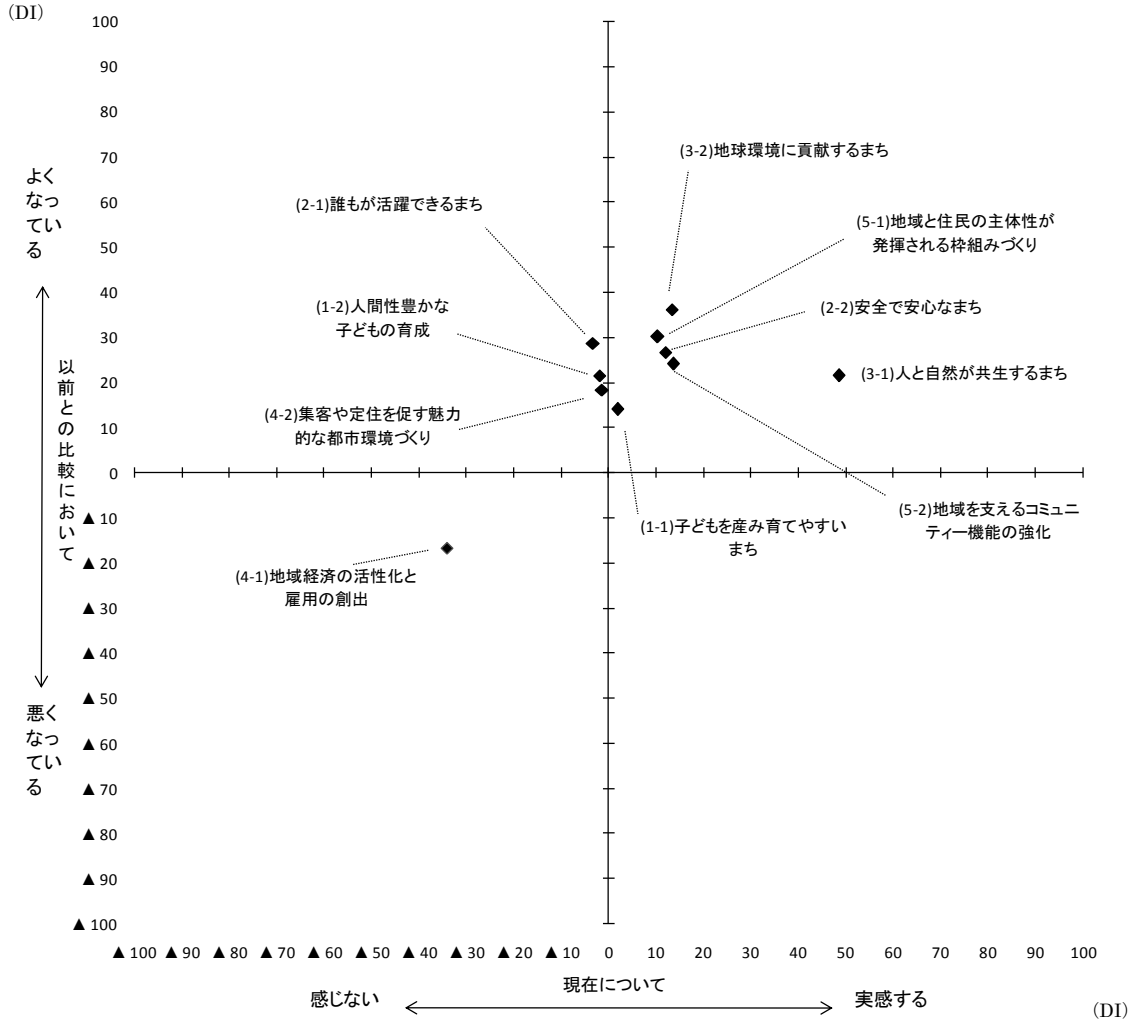


☆重点プログラムの目的である「持続可能な発展を遂げるために必要な都市力（都市力）」を備えているまち」に対する市民の実感は、「以前との比較」では若干、良好な傾向が示されたが、現在については、実感が得られていない状況がみられる。

☆各重点プログラムが目指す都市像に対する実感に関して、「現在について」、「以前との比較」ともに突出した傾向を示しているものはみられない。

☆「現在」「以前」ともに良好な傾向を示しているものは、「重点プログラム３（環境と調和した潤いのあるまち）」「重点プログラム５（住民自治に根差したまち）」で、「現在」「以前」ともに実感が得られていないのは「重点プログラム４（にぎわいと活力に満ちたまち）」となった。

（２） DIでみた、「重点プログラムの取り組みの方向性別」の状況
（図表Ⅱ-２「現在について」と「以前との比較」）



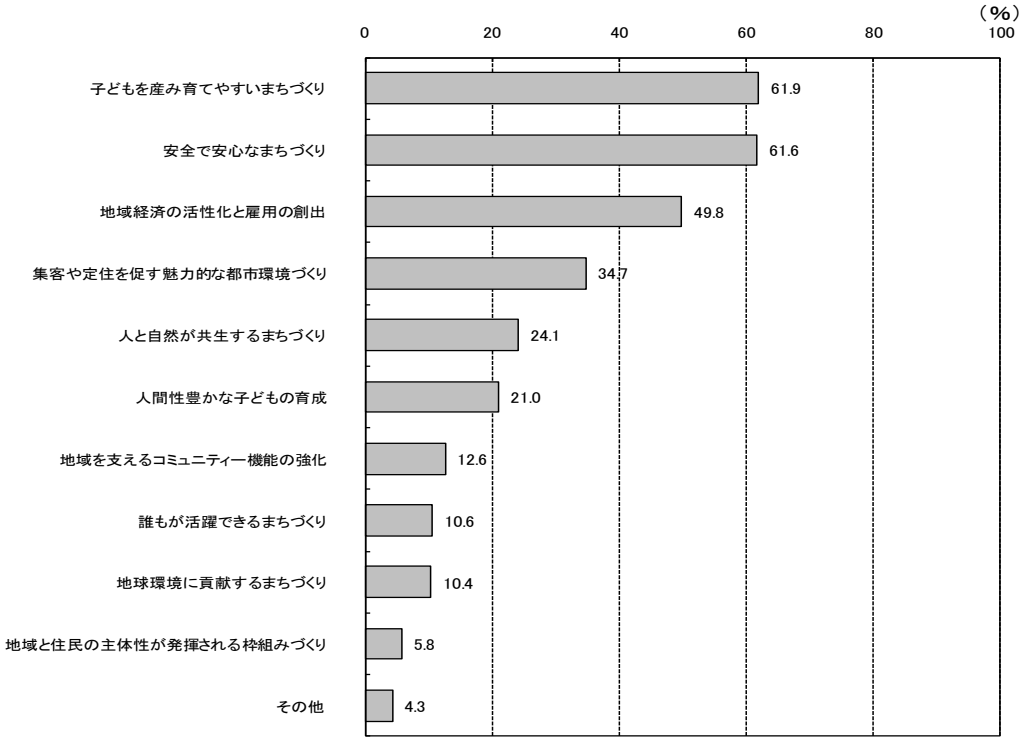
☆ 各重点プログラムの取り組みの方向性の状況についてみると、全体的には、図表Ⅱ－１と同様の傾向を示している。

☆ このうち、「現在」「以前」ともに良好な傾向を示しているものは６項目で、特に「3-1 人と自然が共生するまち」が現在について高い実感が示されている。

☆ 一方「現在」「以前」ともに実感が得られていないのは「重点プログラム４」を構成する取り組みの方向性「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」となった。

（３）重点プログラム　取り組みの方向性別優先度（複数回答　３つまで）

図表Ⅱ-3　重点プログラムの取り組みの方向性別優先度



注）その他には、市への個別、具体的な要望等が多く含まれている。

図表Ⅱ-4　重点プログラムの取り組みの方向性別優先度の構成比

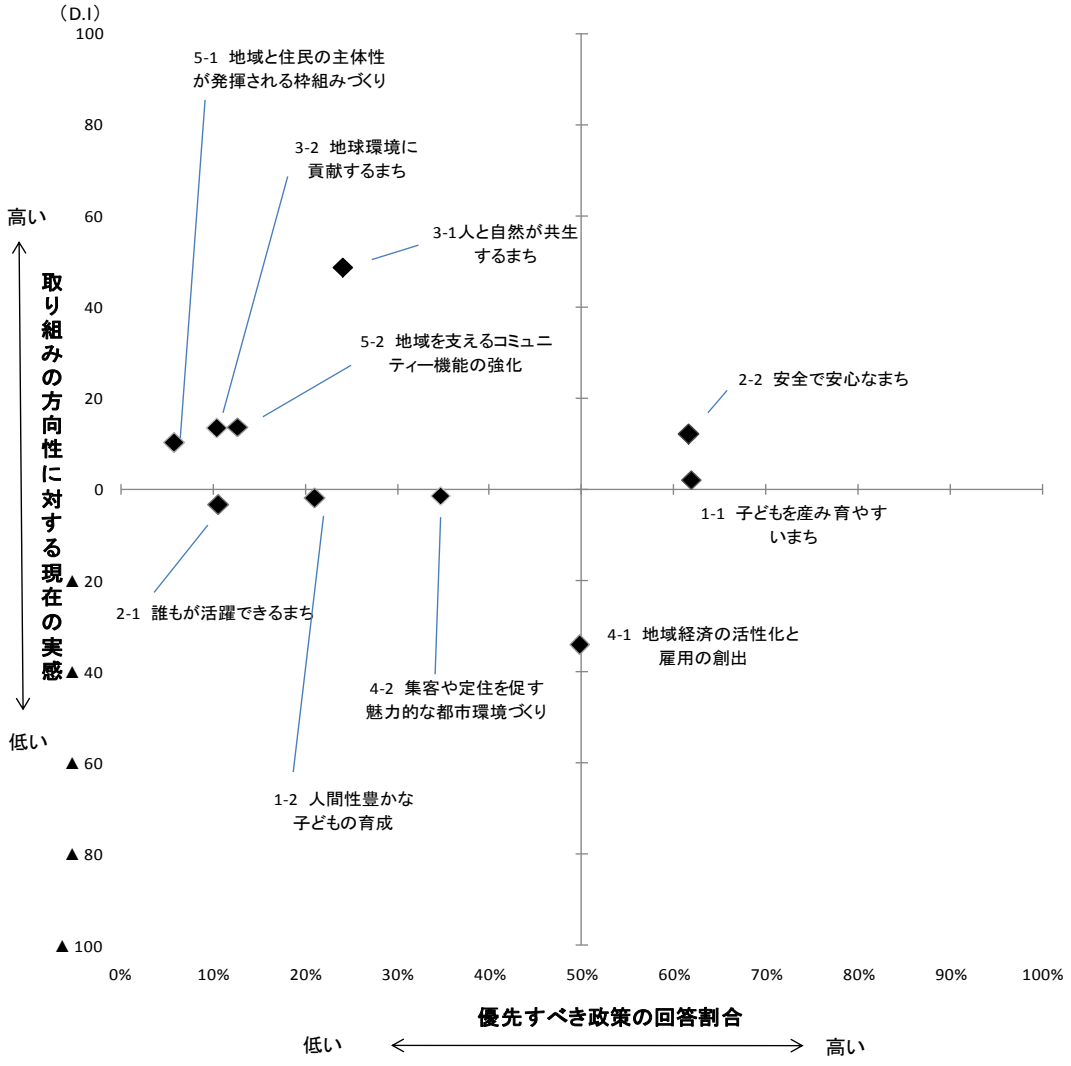
	重点プログラム	取り組みの方向性		構成比（%）
1	新しい芽を育む	1−1	子どもを産み育てやすいまちづくり	61.9
		1−2	人間性豊かな子どもの育成	21.0
			計	82.9
2	命を守る	2−1	誰もが活躍できるまちづくり	10.6
		2−2	安全で安心なまちづくり	61.6
			計	71.6
3	環境を守る	3−1	人と自然が共生するまちづくり	24.1
		3−2	地球環境に貢献するまちづくり	10.4
			計	34.5
4	にぎわいを生む	4−1	地域経済の活性化と雇用の創出	49.8
		4−2	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	34.7
			計	84.5
5	地域力を育む	5−1	地域住民の主体性が発揮される枠組みづくり	5.8
		5−2	地域を支えるコミュニティー機能の強化	12.6
			計	18.4

☆ 回答者の６割以上が「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」と「2-2　安全で安心なまちづくり」を選択。

☆ これに続き、高い値を示したのは、4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」「4-2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」で、いずれも重点プログラム４を構成する取り組みの方向性である。これは、図表 1－1 で示されたとおり、現時点では目指す都市像に対する実感が得られていないプログラムである。

（４）取り組みの方向性（優先して取り組むべき課題×現在の実感）

図表Ⅱ-５　取り組みの方向性（優先度の構成比×現在の実感）



☆ 優先すべき課題の回答割合が高く、ＤＩ（現在の実感）が低いものは「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」。

☆ 優先すべき課題の回答割合が最も高い値を示した「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」について、ＤＩ（現在の実感）は、ほぼ、プラスマイナスゼロの状況。

☆ 一方、重点プログラム３および重点プログラム５を構成する取り組みの方向性については全て、ＤＩ（現在の実感）が高く、優先すべき政策の回答割合が低いゾーンにある。

（Ⅲ）集計結果

―重点プログラムが目指す都市像と取り組みの方向性の状況－

集計結果の見方

基本計画重点プログラム市民アンケートでは、各重点プログラムが目指す都市像、その都市像を実現するための取り組みの方向性について、以下のとおり設問している。

（１）現在の状況は、重点プログラムが目指す都市像、取り組みの方向性の状態だと
「①思う」「② やや思う」「③どちらともいえない」「④ あまり思わない」「⑤思わない」の５段階。

（２）以前と比較して重点プログラムが目指す都市像、取り組みの方向性が目指す状態に向かって
「①よくなっている」「②どちらかというとよくなっている」「③変わっていない」「④どちらかというと悪くなっている」「⑤悪くなっている」の５段階で、

また、それぞれに「⑥わからない」を設定し**実感を**尋ねている。

以下、集計結果は、「⑥わからない」「無回答」を除いて回答割合を算出している。

現在の状況　「①思う」＋「② やや思う」
以前と比較して　「①よくなっている」＋「②どちらかというとよくなっている」
→プラスの回答ポイント

現在の状況　「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」
以前と比較して　「④どちらかというと悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」
→マイナスの回答ポイント

プラスの回答－マイナスの回答＝DI　として記述している。

※DI がプラスであれば、プログラムが目指す都市像、施策の方向性に向かって、回答者の実感が**良好、改善**の傾向、マイナスであれば、**停滞、後退**の傾向にある。

iii－1　プログラムが目指す都市像（現在の状況）・・・　図表Ⅲ－1、Ⅲ－2

（１）プラスの回答割合（「①思う」＋「② やや思う」）

・最も高い値を示したのは「プログラム３　環境と調和した潤いのあるまち」が 48.2 ポイント、次いで、「プログラム５　住民自治に根差したまち」が 39.6 ポイントと高く、「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」を除き、すべて 30 ポイントを超えている。

（２）マイナスの回答割合（「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」）

・「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」が 48.1 ポイントで最も高く、その他については「プログラム３　環境と調和した潤いのあるまち」を除き、すべて 30 ポイントを超えている。

（３）DI（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

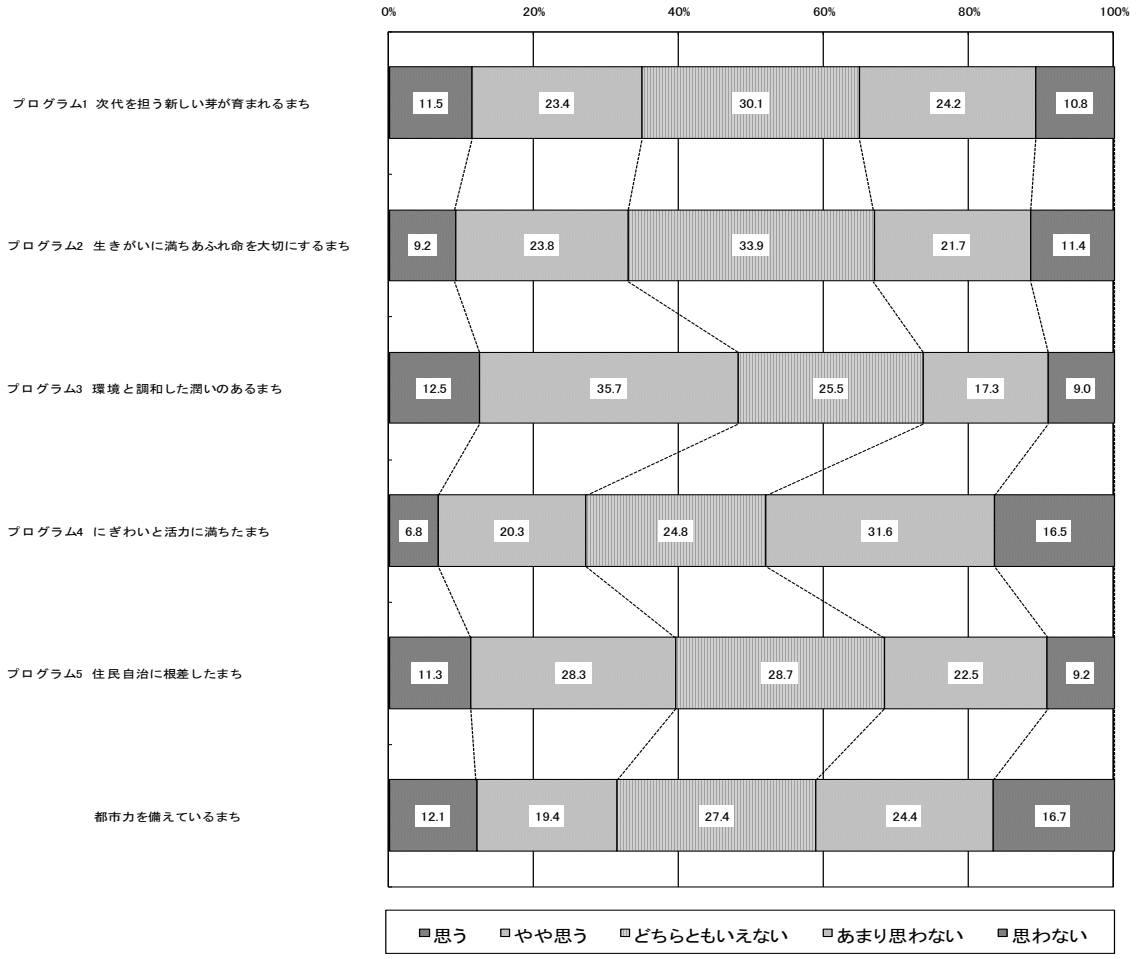
・５つのプログラムのうち DI がプラスの値を示したのは２つのプログラム。
・最も高い値を示したのは「プログラム３　環境と調和した潤いのあるまち」で 21.9 ポイントであった。
・一方、マイナスを示した３つのプログラムのうち、「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」が▲21.0 ポイントと突出した値を示しており、他の２項目については、ほぼプラスマイナスゼロの状態で、均衡している。
・なお、重点プログラムの目的である「持続可能な都市力（都市の魅力）を備えているまち」について、現在の状況の DI は▲9.6 ポイントで、実感が得られていない状況にある。

図表Ⅲ－１　各プログラムの現在の状況

各プログラムの目指す都市像と重点プログラムの目的(現在の状況)		件数（人）	単位(%)					(ポイント)		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①+②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
プログラム1	次代を担う新しい芽が育まれるまち	591	11.5	23.4	30.1	24.2	10.8	34.9	35.0	▲ 0.1
プログラム2	生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち	631	9.2	23.8	33.9	21.7	11.4	33.0	33.1	▲ 0.1
プログラム3	環境と調和した潤いのあるまち	655	12.5	35.7	25.5	17.3	9.0	48.2	26.3	21.9
プログラム4	にぎわいと活力に満ちたまち	705	6.8	20.3	24.8	31.6	16.5	27.1	48.1	▲ 21.0
プログラム5	住民自治に根差したまち	586	11.3	28.3	28.7	22.5	9.2	39.6	31.7	7.9
重点プログラムの目的	持続可能な都市力（都市の魅力）を備えているまち	676	12.1	19.4	27.4	24.4	16.7	31.5	41.1	▲ 9.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数（n）は項目によって異なる。

図表Ⅲ－２　各プログラムの現在の状況



iii－2 プログラムが目指す都市像（以前との比較）・・・ 図表Ⅲ－3、Ⅲ－4

①プラスの回答割合（①よくなっている」＋「②どちらかというとよくなっている」）

・最も高い割合を示したものは、「プログラム３　環境と調和した潤いあるまち」の 41.2 ポイントであるが、「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」を除き、全てのプログラムでほぼ同様の値を示しており、大きな差は見られない。

②マイナスの回答割合（「④どちらかというと悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」）

・「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」が 29.1 ポイントで最も高く、その他については、すべて 10 ポイント台と低い値となっている。

③DI（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

・「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」を除き、すべての DI がプラスで、その値は 25 ポイント程度となっており、各プログラムの目指す都市像に対して以前よりは良くなっていると感じられている。

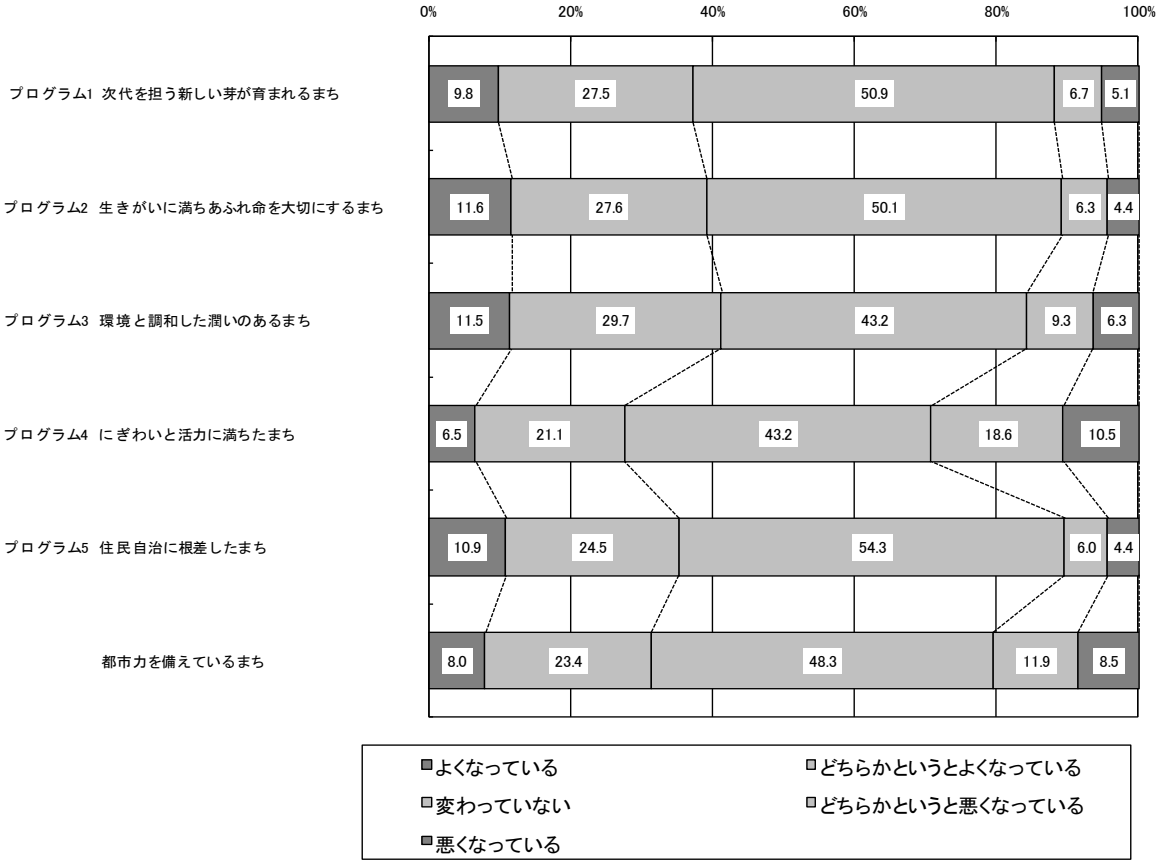
・他方、重点プログラムの目的である「持続可能な都市力（都市の魅力）を備えているまち」についても以前よりは良い状況にあると感じられている。

図表Ⅲ－３　各プログラムの目指す都市像（以前との比較）

各プログラムの目指す都市像と重点プログラムの目的（以前との比較）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①+②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム1	次代を担う新しい芽が育まれるまち	491	9.8	27.5	50.9	6.7	5.1	37.3	11.8	25.5
プログラム2	生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち	543	11.6	27.6	50.1	6.3	4.4	39.2	10.7	28.5
プログラム3	環境と調和した潤いのあるまち	572	11.5	29.7	43.2	9.3	6.3	41.2	15.6	25.6
プログラム4	にぎわいと活力に満ちたまち	629	6.5	21.1	43.2	18.6	10.5	27.6	29.1	▲1.5
プログラム5	住民自治に根差したまち	503	10.9	24.5	54.3	6	4.4	35.4	10.4	25.0
重点プログラムの目的	持続可能な都市力（都市の魅力）を備えているまち	578	8.0	23.4	48.3	11.9	8.5	31.4	20.4	11.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数（n）は項目によって異なる

図表Ⅲ－４　各プログラムの目指す都市像とプログラムの目的（以前との比較）



ⅲ－３　各プログラムの取り組みの方向性（現在の状況）・・・図表Ⅲ－５、Ⅲ－６

（１）プラスの回答（「①思う」＋「② やや思う」）

・プラス値が最も高い項目は、「3－1　人と自然が共生するまち」の 68.2 ポイントで、回答者の多くが、緑豊かな丘陵や、海に囲まれた自然環境を実感しているとみることができる。

・一方、プラス値が最も低い項目は、「4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」の 20.1 ポイントで、最も高い「3－1　人と自然が共生するまち」とでは 40 ポイント以上の開きがある。

・これら以外の項目については 30～40 ポイント台の高い値となっている。

（２）マイナスの回答（「④ あまり思わない」＋「⑤思わない」）

・「4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」が 54.3 ポイントで最も高く、市内経済全体の元気さや雇用環境に対して、現時点では実感が得られていないとみることができる。

（３）DI（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

・10 項目の取り組みの方向性のうち、DI がプラスの値を示したのは６項目。

・最も高い値を示したのは、「3－1　人と自然が共生するまち」の 48.7 ポイント。
その他の項目の多くが 10 ポイント程度のプラス値となっている。

・一方、マイナスとなった４項目のうち「4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」が▲34.1 ポイントで突出して低く、その他については数ポイントのマイナスにとどまっており、項目で大きな開きがある。

・プログラムを構成する取り組みの方向性のうち、DI が両方ともプラスとなったのは「プログラム３　環境と調和した潤いのあるまち」「プログラム５　住民自治に根差したまち」の２つであった。

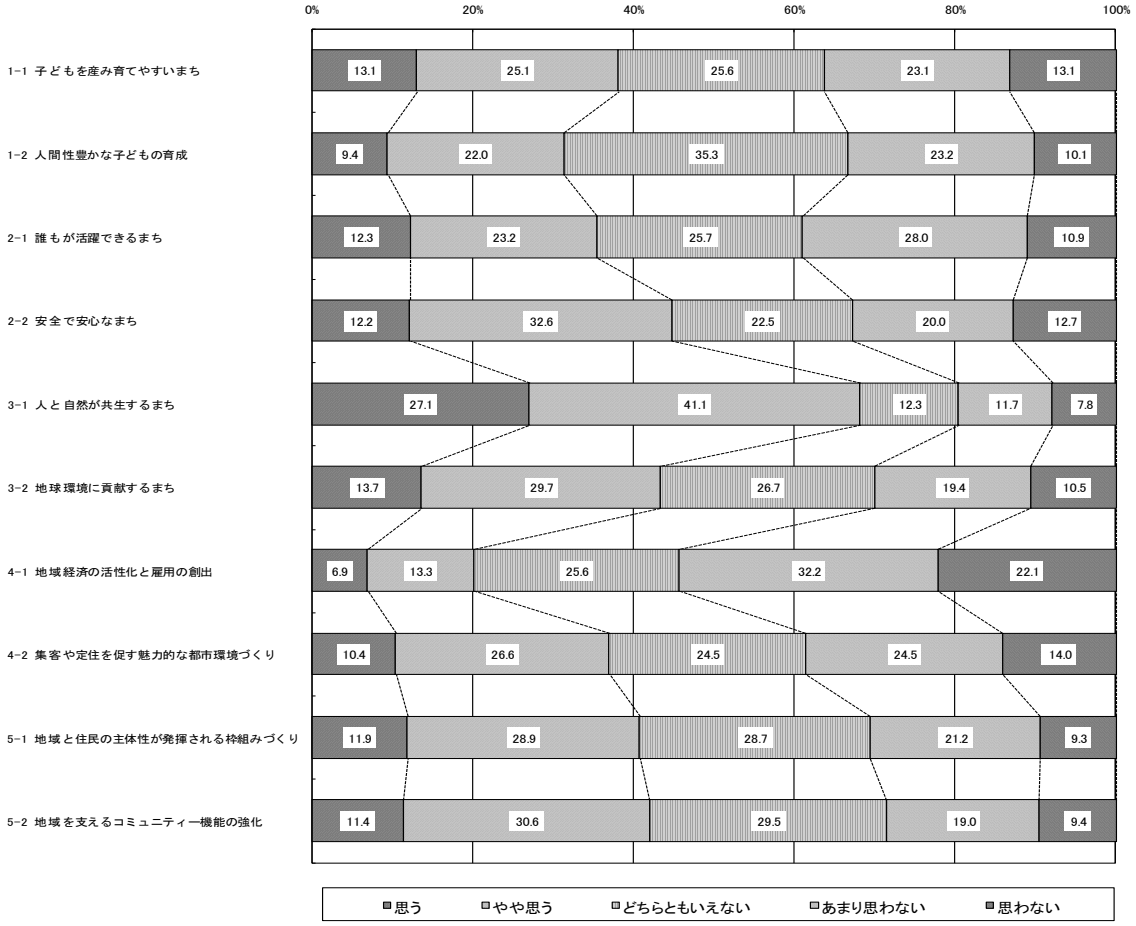
・一方、両方ともマイナスとなったのは「プログラム４　にぎわいと活力に満ちたまち」で、これについて、前述のプログラム別の傾向と一致する。

図表Ⅲ－５　取り組みの方向性（現在）

各プログラムの施策の方向性（現在の状況）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
プログラム1	(1-1)子どもを産み育てやすいまち	597	13.1	25.1	25.6	23.1	13.1	38.2	36.2	2.0
	(1-2)人間性豊かな子どもの育成	555	9.4	22.0	35.3	23.2	10.1	31.4	33.3	▲ 1.9
プログラム2	(2-1)誰もが活躍できるまち	651	12.3	23.2	25.7	28.0	10.9	35.5	38.9	▲ 3.4
	(2-2)安全で安心なまち	711	12.2	32.6	22.5	20.0	12.7	44.8	32.7	12.1
プログラム3	(3-1)人と自然が共生するまち	716	27.1	41.1	12.3	11.7	7.8	68.2	19.5	48.7
	(3-2)地球環境に貢献するまち	666	13.7	29.7	26.7	19.4	10.5	43.4	29.9	13.5
プログラム4	(4-1)地域経済の活性化と雇用の創出	653	6.9	13.3	25.6	32.2	22.1	20.2	54.3	▲ 34.1
	(4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	685	10.4	26.6	24.5	24.5	14.0	37.0	38.5	▲ 1.5
プログラム5	(5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	599	11.9	28.9	28.7	21.2	9.3	40.8	30.5	10.3
	(5-2)地域を支えるコミュニティー機能の強化	630	11.4	30.6	29.5	19.0	9.4	42.0	28.4	13.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数（n）は項目によって異なる

図表Ⅲ－６　取り組みの方向性（現在）



ⅲ－４　各プログラムの取り組みの方向性（以前との比較）・・・図表Ⅲ－７、Ⅲ－８

（１）プラスの回答割合（①よくなっている」＋「②どちらかというとよくなっている」）

・最も高い値を示したのは、「3－2 地球環境に貢献するまち」の 46.2 ポイントで、「3－1 人と自然が共生するまち」が 44.1 ポイントで続いている。

・これらはいずれも「プログラム３　環境と調和した潤いのあるまち」を構成する取り組みの方向性である。

・他については、「プログラム 4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」を除き、全て 35 ポイントを超えており、全体的にみると以前との比較では、概ね良好な状況だと見ることができる。

（２）マイナスの回答割合（「④どちらかというと悪くなっている」＋「⑤悪くなっている」）

・「プログラム 4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」が 44.1 ポイントで最も高く、これに次いで「1－1 子どもを産み育てやすいまち」が 23.5 ポイントで続く。

・これ以外の項目については概ね 10 ポイント台の値を示している。

（３）DI（プラスの回答割合－マイナスの回答割合）

・10 の取り組みの方向性のうちプラスは「4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」を除く９項目。

・最も高い値を示したのは「3－2 地球環境に貢献するまち」の 36.1 ポイントであるが、他についても概ね 20～30 ポイントの値となっており、全体的に一応の実感が得られているとみることができる。

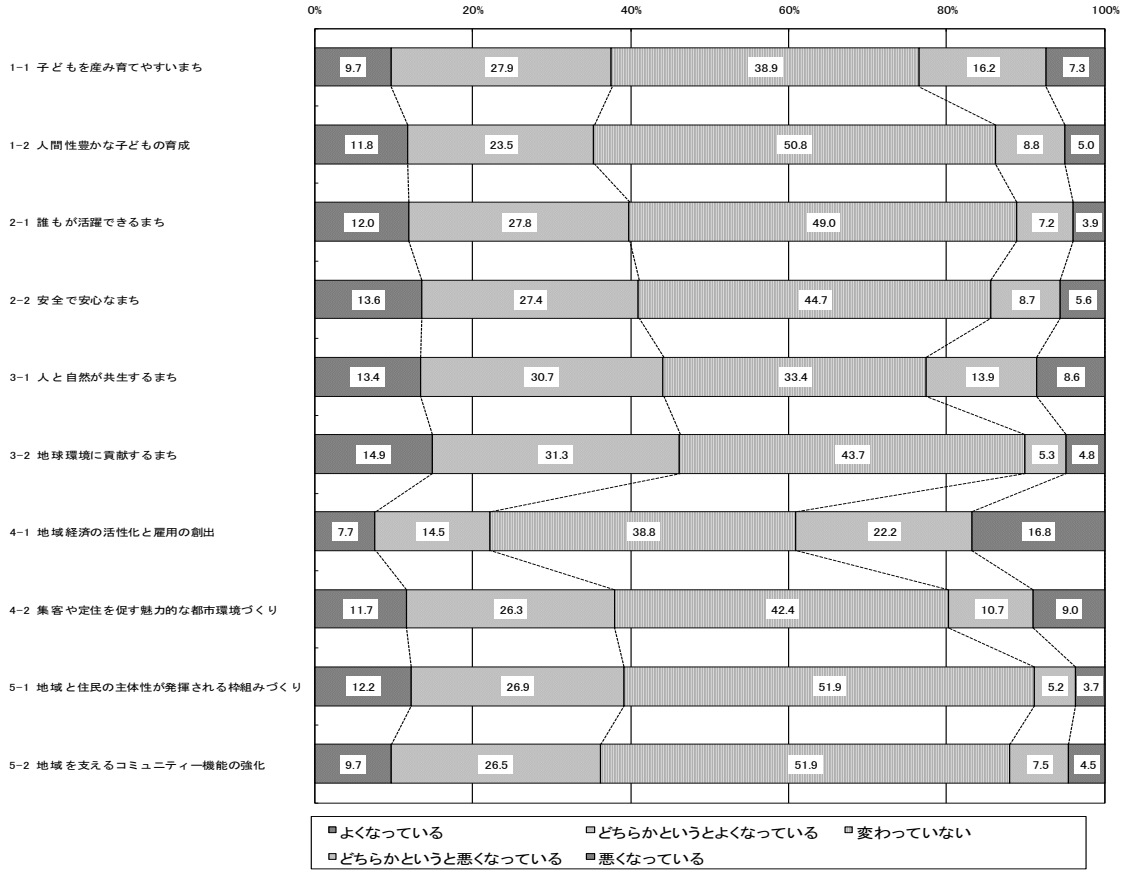
・唯一、マイナスを示した「プログラム 4－1　地域経済の活性化と雇用の創出」は▲16.5 ポイントで現在の状況と同様に厳しい状況にある。

図表Ⅲ－７　取り組みの方向性（以前との比較）

施策の方向性とプログラムが目指す都市像（以前との比較）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
重点プログラム1	(1-1)子どもを産み育てやすいまち	524	9.7	27.9	38.9	16.2	7.3	37.6	23.5	14.1
	(1-2)人間性豊かな子どもの育成	476	11.8	23.5	50.8	8.8	5.0	35.3	13.8	21.5
重点プログラム2	(2-1)誰もが活躍できるまち	557	12.0	27.8	49.0	7.2	3.9	39.8	11.1	28.7
	(2-2)安全で安心なまち	645	13.6	27.4	44.7	8.7	5.6	41.0	14.3	26.7
重点プログラム3	(3-1)人と自然が共生するまち	641	13.4	30.7	33.4	13.9	8.6	44.1	22.5	21.6
	(3-2)地球環境に貢献するまち	584	14.9	31.3	43.7	5.3	4.8	46.2	10.1	36.1
重点プログラム4	(4-1)地域経済の活性化と雇用の創出	595	7.7	14.5	38.8	22.2	16.8	22.2	39.0	▲ 16.8
	(4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	609	11.7	26.3	42.4	10.7	9.0	38.0	19.7	18.3
重点プログラム5	(5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	516	12.2	26.9	51.9	5.2	3.7	39.1	8.9	30.2
	(5-2)地域を支えるコミュニティー機能の強化	536	9.7	26.5	51.9	7.5	4.5	36.2	12.0	24.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数（n）は項目によって異なる。

図表Ⅲ－８　取り組みの方向性（以前との比較）



Ⅳ　集計結果（プログラム別の状況）

重点プログラム１　『新しい芽を育む』
～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

（１）プログラム１　全体の傾向

【現在の状況】

・プログラムが目指す都市像（次代を担う新しい芽が育まれるまち）について、DI は、ほぼゼロの状況で、２つの取り組みの方向性についても同様の傾向がみられる。

【以前との比較】

・プログラムが目指す都市像、プログラムの取り組みの方向性、いずれの DI もプラスで、以前との比較ではプログラム全体に対する回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－１　プログラム１　新しい芽を育む（現在）

現在の状況		件数(人)	単位(%)					(ポイント)		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム1	(1-1)子どもを産み育てやすいまち	597	13.1	25.1	25.6	23.1	13.1	38.2	36.2	2.0
	(1-2)人間性豊かな子どもの育成	555	9.4	22.0	35.3	23.2	10.1	31.4	33.3	▲1.9
	次代を担う新しい芽が育まれるまち	591	11.5	23.4	30.1	24.2	10.8	34.9	35.0	▲0.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数（n）は項目によって異なる。

図表Ⅳ－２　プログラム１　新しい芽を育む（以前との比較）

以前との比較		件数(人)	単位(%)					(ポイント)		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム1	(1-1)子どもを産み育てやすいまち	524	9.7	27.9	38.9	16.2	7.3	37.6	23.5	14.1
	(1-2)人間性豊かな子どもの育成	476	11.8	23.5	50.8	8.8	5.0	35.3	13.8	21.5
	次代を担う新しい芽が育まれるまち	491	9.8	27.5	50.9	6.7	5.1	37.3	11.8	25.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数（n）は項目によって異なる。

（２）属性別の傾向

①1－1 子どもを産み育てやすいまち

【現在の状況（年齢別）】

・回答者全体の DI は、2.0 ポイントで若干プラスである。年齢別では、特に 40 歳代の DI は▲11.2 ポイントで低い傾向がみられる。
一方、出産の中心となる 20、30 歳代の DI はプラスで全体より若干高い傾向がみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・50 歳代を除く、すべての年齢層で DI はプラスの状況がみられ、以前との比較では回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－３　子どもを産み育てやすいまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	597	13.1	25.1	25.6	23.1	13.1	38.2	36.2	2.0
29歳以下	69	8.7	26.1	33.3	26.1	5.8	34.8	31.9	2.9
30－39歳	86	9.3	30.2	24.4	26.7	9.3	39.5	36.0	3.5
40－49歳	90	11.1	23.3	20.0	28.9	16.7	34.4	45.6	▲ 11.2
50－59歳	109	8.3	27.5	26.6	17.4	20.2	35.8	37.6	▲ 1.8
60－69歳	113	17.7	24.8	20.4	23.9	13.3	42.5	37.2	5.3
70歳以上	120	20.8	20.0	27.5	20.0	11.7	40.8	31.7	9.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 587 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－４　子どもを産み育てやすいまち（以前との比較）

年齢別	件数(人)	単位(%)					(ポイント)		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	524	9.7	27.9	38.9	16.2	7.3	37.6	23.5	14.1
29歳以下	46	6.5	43.5	37.0	10.9	2.2	50.0	13.0	37.0
30－39歳	74	10.8	23.0	45.9	14.9	5.4	33.8	20.3	13.5
40－49歳	82	11.0	24.4	37.8	15.9	11.0	35.4	26.9	8.5
50－59歳	100	4.0	25.0	38.0	22.0	11.0	29.0	33.0	▲ 4.0
60－69歳	105	11.4	27.6	34.3	18.1	8.6	39.0	26.7	12.3
70歳以上	109	12.8	30.3	40.4	12.8	3.7	43.1	16.5	26.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 516 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（世帯構成別）】

・施策の主な対象となる「小学生未満の子どもがいる世帯」の DI が 11.5 ポイントで、世帯構成別の中で最も高い値を示しており、一応の実感が得られていると見ることができる。

・一方、「小学生～中学生の子どもがいる世帯」では傾向が異なり DI がマイナスで、実感に弱い状況がみられる。

【以前との比較（世帯構成別）】

・すべての世帯構成で DI がプラスの状況がみられ、以前との比較では回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

・特に、現在と同様、「小学生未満の子どもがいる世帯」は、世帯構成別の中で最も高い値を示している。

図表Ⅳ－５　子どもを産み育てやすいまち（現在）

世帯別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	597	13.1	25.1	25.6	23.1	13.1	38.2	36.2	2.0
小学生未満の子どもがいる	52	7.7	34.6	26.9	15.4	15.4	42.3	30.8	11.5
小学生～中学生の子どもがいる	84	9.5	29.8	19.0	26.2	15.5	39.3	41.7	▲ 2.4
65歳以上の高齢者がいる	208	13.9	25.0	26.4	24.0	10.6	38.9	34.6	4.3
単身世帯（一人暮らし）	87	24.1	13.8	20.7	31.0	10.3	37.9	41.3	▲ 3.4
上記に該当なし	191	9.9	27.2	28.3	18.3	16.2	37.1	34.5	2.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため、件数(n)は 622 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－６　子どもを産み育てやすいまち（以前との比較）

集計軸：世帯構成	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	524	9.7	27.9	38.9	16.2	7.3	37.6	23.5	14.1
小学生未満の子どもがいる	43	14.0	30.2	41.9	9.3	4.7	44.2	14.0	30.2
小学生～中学生の子どもがいる	78	14.1	26.9	41.0	10.3	7.7	41.0	18.0	23.0
65歳以上の高齢者がいる	192	9.9	30.7	39.1	16.1	4.2	40.6	20.3	20.3
単身世帯（一人暮らし）	74	13.5	28.4	31.1	20.3	6.8	41.9	27.1	14.8
上記に該当なし	166	7.2	24.1	39.8	17.5	11.4	31.3	28.9	2.4

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため、件数(n)は 553 件で全体とは一致しない。

②1－2　人間性豊かな子どもの育成

【現在の状況（年齢別）】

・特に 40 歳、50 歳代のマイナス値が大きい状況がみられる。一方、30 歳代では、プラスで全体より高い傾向がみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、回答者の実感は、以前との比較では概ね良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－７　人間性豊かな子どもの育成（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	555	9.4	22.0	35.3	23.2	10.1	31.4	33.3	▲ 1.9
29歳以下	61	8.2	19.7	32.8	27.9	11.5	27.9	39.3	▲ 11.5
30－39歳	78	11.5	26.9	35.9	15.4	10.3	38.4	25.7	12.7
40－49歳	89	4.5	22.5	29.2	27.0	16.9	27.0	43.9	▲ 16.9
50－59歳	98	5.1	18.4	34.7	28.6	13.3	23.5	41.9	▲ 18.4
60－69歳	109	11.9	23.9	35.8	21.1	7.3	35.8	28.4	7.4
70歳以上	110	14.5	20.9	40.0	20.9	3.6	35.4	24.5	10.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 545 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－８　人間性豊かな子どもの育成（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	476	11.8	23.5	50.8	8.8	5.0	35.3	13.8	21.5
29歳以下	46	6.5	37.0	52.2	0.0	4.3	43.5	4.3	39.1
30－39歳	59	13.6	18.6	59.3	5.1	3.4	32.2	8.5	23.7
40－49歳	75	6.7	22.7	52.0	10.7	8.0	29.4	18.7	10.7
50－59歳	88	6.8	18.2	52.3	13.6	9.1	25.0	22.7	2.3
60－69歳	100	18.0	23.0	46.0	10.0	3.0	41.0	13.0	28.0
70歳以上	101	15.8	26.7	45.5	8.9	3.0	42.5	11.9	30.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 516 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（世帯構成別）】

・「小学生未満の子どもがいる世帯」の DI が 12.5 ポイントで、値としてはそれほど大きくはないものの、世帯構成別の中で最も高い値を示しており、この世帯からは、一応の実感は得られているとみることができる。

・一方、この取り組みの主な対象である「小学生～中学生の子どもがいる世帯」ではマイナスを示しており、実感が得られていない状況にある。

【以前との比較（世帯構成別）】

・すべての世帯項目で DI がプラスで、以前との比較において、回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

・一方、この取り組み方向性の主な対象となる「小学生～中学生の子どもがいる世帯」のプラス値が低く、また「変わっていない」の回答が６割を超えており、強い実感は得られていない状況にある。

図表Ⅳ－９　人間性豊かな子どもの育成（現在）

世帯別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	555	9.4	22.0	35.3	23.2	10.1	31.4	33.3	▲ 1.9
小学生未満の子どもがいる	40	12.5	25.0	37.5	17.5	7.5	37.5	25.0	12.5
小学生～中学生の子どもがいる	79	8.9	21.5	34.2	24.1	11.4	30.4	35.5	▲ 5.1
65歳以上の高齢者がいる	192	9.9	22.4	34.4	26.0	7.3	32.3	33.3	▲ 1.0
単身世帯（一人暮らし）	87	13.8	19.5	37.9	20.7	8.0	33.3	28.7	4.6
上記に該当なし	182	7.1	22.0	33.5	24.7	12.6	29.1	37.3	▲ 8.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため、件数(n)は 580 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－10　人間性豊かな子どもの育成（以前との比較）

集計軸：世帯構成	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	476	11.8	23.5	50.8	8.8	5.0	35.3	13.8	21.5
小学生未満の子どもがいる	32	9.4	18.8	65.6	3.1	3.1	28.2	6.2	22.0
小学生～中学生の子どもがいる	70	11.4	15.7	61.4	5.7	5.7	27.1	11.4	15.7
65歳以上の高齢者がいる	173	14.5	27.7	47.4	6.9	3.5	42.2	10.4	31.8
単身世帯（一人暮らし）	73	12.3	26.0	46.6	9.6	5.5	38.3	15.1	23.2
上記に該当なし	152	9.9	21.1	49.3	12.5	7.2	31.0	19.7	11.3

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため、件数(n)は 500 件で全体とは一致しない。

③次代を担う新しい芽が育まれるまち（プログラム１が目指す都市像）

【現在の状況（年齢別）】

・DI は、特にプログラム１の主な対象となる 40 歳代、50 歳代でマイナスとなっており、現状では、この世代からの実感が得られていない状況にある。

【以前との比較（年齢別）】

・いずれの年齢層も DI はプラスで、以前との比較では、回答者の実感は良好な状況にあると言える。また特に、高齢層の実感に強い傾向がみられる。

図表Ⅳ－11　次代を担う新しい芽が育まれるまち（現在）

性別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	591	11.5	23.4	30.1	24.2	10.8	34.9	35.0	▲ 0.1
29歳以下	71	8.5	25.4	28.2	23.9	14.1	33.8	38.0	▲ 4.2
30－39歳	88	11.4	21.6	34.1	22.7	10.2	33.0	32.9	0.1
40－49歳	99	10.1	19.2	29.3	25.3	16.2	29.3	41.5	▲ 12.2
50－59歳	98	7.1	15.3	33.7	26.5	17.3	22.4	43.8	▲ 21.4
60－69歳	114	13.2	28.1	27.2	25.4	6.1	41.3	31.5	9.8
70歳以上	111	17.1	28.8	28.8	21.6	3.6	45.9	25.2	20.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 581 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－12　次代を担う新しい芽が育まれるまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	491	9.8	27.5	50.9	6.7	5.1	37.3	11.8	25.5
29歳以下	40	10.0	27.5	55.0	0.0	7.5	37.5	7.5	30.0
30－39歳	62	9.7	25.8	53.2	6.5	4.8	35.5	11.3	24.2
40－49歳	87	5.7	21.8	62.1	6.9	3.4	27.5	10.3	17.2
50－59歳	87	4.6	16.1	58.6	8.0	12.6	20.7	20.6	0.1
60－69歳	106	14.2	28.3	42.5	11.3	3.8	42.5	15.1	27.4
70歳以上	100	14.0	42.0	39.0	4.0	1.0	56.0	5.0	51.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 482 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（世帯構成別）】

・全体と比較して、プログラム１の主な対象となる「小学生未満の子どもがいる世帯」「小学生～中学生の子どもがいる世帯」のマイナス値が高く、現状ではこれら世帯からの実感が得られていない状況がみられる。

【以前との比較（世帯構成別）】

・すべての世帯項目でDIがプラスの状況がみられ、以前との比較において、回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

・ただし、このプログラムの主な対象となる「小学生未満の子どもがいる世帯」「小学生～中学生の子どもがいる世帯」のプラス値は低く、「変わっていない」の回答が６割近くにのぼっており、強い実感は得られていない状況にある。

図表Ⅳ－13　次代を担う新しい芽が育まれるまち（現在）

世帯別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	591	11.5	23.4	30.1	24.2	10.8	34.9	35.0	▲ 0.1
小学生未満の子どもがいる	47	12.8	12.8	21.3	31.9	21.3	25.6	53.2	▲ 27.6
小学生～中学生の子どもがいる	85	11.8	12.9	34.1	24.7	16.5	24.7	41.2	▲ 16.5
65歳以上の高齢者がいる	201	11.4	26.4	33.8	20.9	7.5	37.8	28.4	9.4
単身世帯（一人暮らし）	92	18.5	27.2	23.9	22.8	7.6	45.7	30.4	15.3
上記に該当なし	192	9.4	22.4	30.2	26.0	12.0	31.8	38.0	▲ 6.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため、件数(n)は617件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－14　次代を担う新しい芽が育まれるまち（以前との比較）

集計軸：世帯構成	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	491	9.8	27.5	50.9	6.7	5.1	37.3	11.8	25.5
小学生未満の子どもがいる	35	8.6	20.0	57.1	5.7	8.6	28.6	14.3	14.3
小学生～中学生の子どもがいる	70	12.9	15.7	58.6	2.9	10.0	28.6	12.9	15.7
65歳以上の高齢者がいる	178	10.7	34.3	45.5	7.3	2.2	45.0	9.5	35.5
単身世帯（一人暮らし）	76	14.5	27.6	48.7	7.9	1.3	42.1	9.2	32.9
上記に該当なし	154	7.1	24.0	53.2	7.1	8.4	31.1	15.5	15.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため、件数(n)は513件で全体とは一致しない。

（３）主な回答理由

①1－1 子どもを産み育てやすいまち

【現在の状況】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自然が多く残されているなど環境の充実	36	29.3
子育て支援策（市の取り組み）の充実	18	14.6
保育所等の充実、待機児童の減少	13	10.6
産科などの医療体制や医療費助成等の充実	8	6.5
公園など子育てに関係する施設の充実	5	4.1
教育環境の充実	6	4.9
その他（地域の協力や取り組みがあるなど）	14	11.4
産科の減少、保育所が少ないなど	23	18.7
	123	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
産科、産科医など医療体制の不足	87	49.2
医療費助成など子育て支援制度の不足	19	10.7
保育所、学童などの不足	18	10.2
公園など子育てに関係する施設の不足	8	4.5
他都市との比較によるサービスの不足感	8	4.5
その他（歩道の段差、子どもの減少など）	37	20.9
	177	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
待機児童数の減少など目標の動向をみて	18	24.0
以前と比べて良くなってきている	13	17.3
子育て支援策（市の取り組み）の充実	12	16.0
保育所等の充実	8	10.7
産科など医療体制や医療費助成等の充実	4	5.3
公園、駅舎エレベーターなど施設の充実	5	6.7
その他	13	17.3
産科の減少	2	2.7
	75	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
産科、産科医など医療体制の不足	53	60.2
住環境、自然環境などの悪化	9	10.2
目標の動向をみて	4	4.5
教育環境の悪化	4	4.5
その他、意見等	18	20.5
	88	100.0

②1－2　人間性豊かな子どもの育成

【現在の状況】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
市の取り組みの内容や目標の動向から	46	59.0
スポーツクラブや見守り隊など地域活動の充実	10	12.8
子どもたちの日頃の行動をみて	6	7.7
自然環境のよさ	6	7.7
その他	10	12.8
	78	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
施策に特徴がない、成果が見えない	24	22.4
目標の動向をみて	16	15.0
現状で実感がない	14	13.1
教師の資質	10	9.3
子どもたちの日頃の行動を見て	8	7.5
その他（親の問題、少子化など）	35	32.7
	83	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
英語教育、支援教育など子育て、教育政策の充実	17	30.9
以前よりよいと思う	11	20.0
目標の動向から	9	16.4
教師の資質や学校の環境向上、地域との連携	7	12.7
子どもたちの日頃の行動をみて	4	7.3
その他	7	12.7
	55	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
親の行動、考え方の変化	9	22.5
少子化の影響	4	10.0
学校教育の質の低下、地域との連携不足	7	17.5
その他（社会、経済環境の変化による影響）	20	50.0
	40	100.0

③次代を担う新しい芽が育まれるまち（プログラム１が目指す都市像）

【現在の状況】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
市の計画取り組みの推進状況を見て	32	38.6
現状でそう思う	13	15.7
自然環境恵まれているや市民の人柄など	16	19.3
子どもたちの日頃の行動をみて	7	8.4
その他	15	18.1
	83	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
出産子育て施策や教育施策が不十分	37	41.6
現状で実感がない	14	15.7
少子化が続いている	5	5.6
子どもたちの日頃の行動を見て	7	7.9
その他（学校教育の質の低下など）	26	29.2
	89	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
保育所など施設や各種取り組みの充実	23	31.5
現状でそう思う	14	19.2
目標の動向	5	6.8
子どもたちの日頃の行動をみて	5	6.8
その他	17	23.3
	64	87.7

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
社会情勢の変化、経済状況の悪化	12	37.5
出産子育て施策や教育施策が不十分	7	21.9
少子化が続いている	6	18.8
現状で実感がない	3	9.4
その他	4	12.5
	32	100.0

重点プログラム２　『命を守る』
～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

（１）プログラム２　全体の傾向

【現在の状況】

・プログラムが目指す都市像（生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち）について、DI は、ほぼゼロの状況にある。

・一方、プログラムを構成する取り組みの方向性については、傾向が分かれ、「2－2 安全で安心なまち」については、DI がプラスを示しており、回答者から一応の実感が得られているとみることができる。

【以前との比較】

・プログラムが目指す都市像、プログラムの取り組みの方向性、いずれの DI もプラスで、以前との比較において、プログラム全体に対する回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－15　プログラム２　命を守る（現在）

各プログラムの施策の方向性(現在の状況)		件数(人)	単位(%)					(ポイント)		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム2	(2-1)誰もが活躍できるまち	651	12.3	23.2	25.7	28.0	10.9	35.5	38.9	▲3.4
	(2-2)安全で安心なまち	711	12.2	32.6	22.5	20.0	12.7	44.8	32.7	12.1
	生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち	631	9.2	23.8	33.9	21.7	11.4	33.0	33.1	▲0.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数(n)は項目によって異なる。

図表Ⅳ－16　プログラム２　命を守る（以前との比較）

施策の方向性とプログラムが目指す都市像(以前との比較)		件数(人)	単位(%)					(ポイント)		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム2	(2-1)誰もが活躍できるまち	557	12.0	27.8	49.0	7.2	3.9	39.8	11.1	28.7
	(2-2)安全で安心なまち	645	13.6	27.4	44.7	8.7	5.6	41.0	14.3	26.7
	生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち	543	11.6	27.6	50.1	6.3	4.4	39.2	10.7	28.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数(n)は項目によって異なる。

（２）属性別の傾向

①2－1 誰もが活躍できるまち

【現在の状況（年齢別）】

・DI は 40 歳、50 歳代でマイナスが大きい傾向がみられる。一方で、70 歳以上の高齢層ではプラス値となっており、年齢によって実感にばらつきがみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、以前との比較では回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－17　2-1　誰もが活躍できるまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	651	12.3	23.2	25.7	28.0	10.9	35.5	38.9	▲ 3.4
29歳以下	78	14.1	24.4	20.5	28.2	12.8	38.5	41.0	▲ 2.6
30－39歳	90	10.0	30.0	23.3	26.7	10.0	40.0	36.7	3.3
40－49歳	105	8.6	17.1	28.6	28.6	17.1	25.7	45.7	▲ 20.0
50－59歳	116	5.2	27.6	25.0	28.4	13.8	32.8	42.2	▲ 9.4
60－69歳	127	15.7	19.7	29.1	26.8	8.7	35.4	35.5	▲ 0.1
70歳以上	126	19.8	23.0	24.6	27.0	5.6	42.8	32.6	10.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 642 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－18　2-1　誰もが活躍できるまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	557	12.0	27.8	49.0	7.2	3.9	39.8	11.1	28.7
29歳以下	48	8.3	37.5	37.5	6.3	10.4	45.8	16.7	29.2
30－39歳	71	16.9	29.6	46.5	4.2	2.8	46.5	7.0	39.5
40－49歳	91	6.6	29.7	56.0	5.5	2.2	36.3	7.7	28.6
50－59歳	105	7.6	26.7	49.5	10.5	5.7	34.3	16.2	18.1
60－69歳	119	14.3	26.9	50.4	6.7	1.7	41.2	8.4	32.8
70歳以上	115	17.4	24.3	46.1	7.8	4.3	41.7	12.1	29.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 549 件で全体とは一致しない。

②2－2　安全で安心なまち

【現在の状況（年齢別）】

・29 歳以下を除く、すべての年齢層で DI はプラスで、現状について一応の実感は受けていると言える。

・特に 60 歳代以上の高齢層で、DI が高い状況がみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、以前との比較において、回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－19　2-2　安全で安心なまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	711	12.2	32.6	22.5	20.0	12.7	44.8	32.7	12.1
29歳以下	88	11.4	25.0	27.3	23.9	12.5	36.4	36.4	0.0
30－39歳	98	15.3	25.5	28.6	16.3	14.3	40.8	30.6	10.2
40－49歳	114	8.8	31.6	19.3	22.8	17.5	40.4	40.3	0.1
50－59歳	127	5.5	36.2	22.0	19.7	16.5	41.7	36.2	5.5
60－69歳	135	11.9	39.3	20.0	18.5	10.4	51.2	28.9	22.3
70歳以上	135	21.5	33.3	19.3	18.5	7.4	54.8	25.9	28.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 697 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－20　2-2　安全で安心なまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	645	13.6	27.4	44.7	8.7	5.6	41.0	14.3	26.7
29歳以下	69	17.4	29.0	43.5	5.8	4.3	46.4	10.1	36.2
30－39歳	85	10.6	28.2	49.4	2.4	9.4	38.8	11.8	27.0
40－49歳	104	9.6	23.1	51.0	9.6	6.7	32.7	16.3	16.4
50－59歳	123	11.4	25.2	43.1	13.0	7.3	36.6	20.3	16.3
60－69歳	125	16.0	28.8	40.8	11.2	3.2	44.8	14.4	30.4
70歳以上	128	17.2	30.5	41.4	7.0	3.9	47.7	10.9	36.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 634 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（地域別）】

・追浜地域を除く、すべての地域でDIはプラスで、現状について各地域とも一応の実感は得られているとみることができる。特に本庁地区で高い傾向がみられる。

【以前との比較（地域別）】

・すべての地域でDIはプラスで、以前との比較において、回答者の実感は良好な状況にあると言える。特に浦賀地域で強い傾向がみられる。

図表Ⅳ－21　2-2　安全で安心なまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	711	12.2	32.6	22.5	20.0	12.7	44.8	32.7	12.1
本庁地域	106	11.3	44.3	17.9	15.1	11.3	55.6	26.4	29.2
追浜地域	45	11.1	24.4	26.7	24.4	13.3	35.5	37.7	▲ 2.2
田浦地域	33	15.2	33.3	12.1	21.2	18.2	48.5	39.4	9.1
逸見地域	23	17.4	26.1	26.1	17.4	13.0	43.5	30.4	13.1
衣笠地域	115	12.2	29.6	21.7	22.6	13.9	41.8	36.5	5.3
大津地域	75	18.7	28.0	17.3	25.3	10.7	46.7	36.0	10.7
浦賀地域	85	11.8	30.6	32.9	14.1	10.6	42.4	24.7	17.7
久里浜地域	84	14.3	33.3	19.0	19.0	14.3	47.6	33.3	14.3
北下浦地域	55	9.1	32.7	23.6	20.0	14.5	41.8	34.5	7.3
西地域	77	7.8	32.5	24.7	22.1	13.0	40.3	35.1	5.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は698件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－22　2-2　安全で安心なまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	645	13.6	27.4	44.7	8.7	5.6	41.0	14.3	26.7
本庁地域	96	15.6	26.0	45.8	10.4	2.1	41.6	12.5	29.1
追浜地域	43	11.6	27.9	37.2	16.3	7.0	39.5	23.3	16.2
田浦地域	30	10.0	26.7	40.0	10.0	13.3	36.7	23.3	13.4
逸見地域	23	21.7	26.1	34.8	13.0	4.3	47.8	17.3	30.5
衣笠地域	106	17.0	23.6	43.4	11.3	4.7	40.6	16.0	24.6
大津地域	70	11.4	27.1	52.9	2.9	5.7	38.5	8.6	29.9
浦賀地域	76	15.8	40.8	32.9	5.3	5.3	56.6	10.6	46.0
久里浜地域	76	11.8	25.0	53.9	3.9	5.3	36.8	9.2	27.6
北下浦地域	49	12.2	30.6	34.7	14.3	8.2	42.8	22.5	20.3
西地域	66	9.1	21.2	54.5	7.6	7.6	30.3	15.2	15.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は635件で全体とは一致しない。

③生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち（プログラム２が目指す都市像）

【現在の状況（年齢別）】

・特に 40 歳代、50 歳代で DI が低い傾向がみられ、これらの世代からは、現状に対する実感が得られていない状況にある。

・一方で、70 歳以上ではプラスの傾向がみられ、世代によって実感にばらつきがみられる。この傾向については取り組みの方向性のうち、「2－1　誰もが活躍できるまち」の傾向と類似している。

【以前との比較（年齢別）】

・いずれの年齢層も DI はプラスで、以前との比較では、プログラム２に対する回答者の実感は良好な状況にあると言える。また特に、高齢層のポイントが高くなっている。

図表Ⅳ－23　生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	631	9.2	23.8	33.9	21.7	11.4	33.0	33.1	▲ 0.1
29歳以下	67	10.4	22.4	32.8	20.9	13.4	32.8	34.3	▲ 1.5
30－39歳	82	8.5	24.4	36.6	19.5	11.0	32.9	30.5	2.4
40－49歳	98	6.1	24.5	32.7	18.4	18.4	30.6	36.8	▲ 6.2
50－59歳	112	8.0	19.6	30.4	28.6	13.4	27.6	42.0	▲ 14.4
60－69歳	130	9.2	24.6	39.2	20.8	6.2	33.8	27.0	6.8
70歳以上	130	13.1	26.2	31.5	20.0	9.2	39.3	29.2	10.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 619 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－24　生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	543	11.6	27.6	50.1	6.3	4.4	39.2	10.7	28.5
29歳以下	43	7.0	30.2	53.5	4.7	4.7	37.2	9.4	27.8
30－39歳	66	15.2	24.2	54.5	3.0	3.0	39.4	6.0	33.4
40－49歳	85	9.4	22.4	55.3	7.1	5.9	31.8	13.0	18.8
50－59歳	102	7.8	24.5	52.9	7.8	6.9	32.3	14.7	17.6
60－69歳	118	13.6	32.2	39.8	10.2	4.2	45.8	14.4	31.4
70歳以上	118	15.3	30.5	49.2	2.5	2.5	45.8	5.0	40.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 532 件で全体とは一致しない。

（３）主な回答理由

①2－1 誰もが活躍できるまち

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
地域活動が盛ん、ボランティア活動で活躍する人の増加	24	23.3
高齢者、障害者施策の充実	19	18.4
ノンステップバスの普及や公共施設のバリアフリー対策の充実	15	14.6
福祉政策や検診事業、AEDなど医療環境の充実	5	4.9
実感としてそう思う	5	4.9
その他（意見・要望等）	35	34.0
	103	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
雇用の減少・まちに活気がない	28	23.3
高齢者、障害者施策や医療体制が不十分	16	13.3
市の取り組み内容や情報提供が不十分	13	10.8
実感として思えない	12	10.0
地域活動が排他的	8	6.7
道路や公共施設のバリアフリー対策が不十分	6	5.0
その他（意見・要望等）	37	30.8
	120	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
障害者、高齢者施策など福祉施策の充実	16	22.9
地域活動やボランティア活動で活躍する人、交流場所の増加	13	18.6
ノンステップバスの普及や公共施設のバリアフリー対策の充実	10	14.3
実感としてそう思う	10	14.3
目標の動向、市の取り組み内容をみて	7	10.0
その他（意見・要望等）	14	20.0
	70	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
雇用の減少・活気がない	13	36.1
実感として思えない	5	13.9
市の取り組み内容や情報提供が不十分	3	8.3
医療体制が不十分	2	5.6
その他（意見・要望等）	13	36.1
	36	100.0

②2－2　安全で安心なまち

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
実感としてそう思う	31	21.2
犯罪の減少・治安の良さ	24	16.4
防災、耐震対策、災害対策の充実資料をみて	21	14.4
自治会、地域団体や行政による防災・防犯活動街灯の整備	17	11.6
警察・消防の存在	10	6.8
交通安全対策、バリアフリー化の推進	8	5.5
医療体制の整備	6	4.1
米軍基地や自衛隊の存在	5	3.4
その他（意見・要望等）	24	16.4
	146	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
身近な犯罪の増加、治安が悪化している	47	31.1
基地や原子力関連施設の存在	37	24.5
地震、崖崩れなどの災害に対する不安、防犯、防災対策への取り組みが不十分	34	22.5
自転車を含む交通マナーの悪化、暴走族の存在	12	7.9
通学路、歩道が狭いなど道路整備が不十分	10	6.6
医療体制が十分でない	5	3.3
その他（意見・要望等）	6	4.0
	151	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
目標の動向、市の取り組み内容をみて	20	21.7
大きな事件や犯罪が少なく、治安が良くなっている	18	19.6
地域での防犯活動や防犯カメラの設置などが充実してきている	17	18.5
崖地などの防災対策が進んでいる。災害が少なくなってきている	13	14.1
実感としてそう思う	12	13.0
新たな施設の設置や施設のバリアフリー化が進んでいる	6	6.5
その他（意見、要望等）	6	6.5
	92	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
身近な犯罪の増加、住民のマナーや治安が悪化している	32	61.5
地震などの災害に対する不安、防犯、防災対策への取り組みが不十分	5	9.6
基地の存在	4	7.7
人口減少、人間関係の希薄化	3	5.8
医療体制が十分でない	2	3.8
その他（意見、要望等）	6	11.5
	52	100.0

③生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち（プログラム２が目指す都市像）

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
救急医療体制や高齢者施策が充実している	21	27.3
地域活動が盛んになっている、地域内の協力体制がある	15	19.5
目標の動向、市の取り組み内容をみて	9	11.7
実感としてそう思う	8	10.4
民間の福祉施設やサービスが充実している	6	7.8
防犯、防災対策が充実している	4	5.2
その他（意見、要望等）	14	18.2
	77	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
実感として思えない	26	31.7
目標の動向、市の取り組み内容をみて	25	30.5
医療体制、介護・高齢者施設や施策が不十分	10	12.2
犯罪が多いなど、治安が良くない	7	8.5
防犯、防災の取り組みが不十分	4	4.9
その他（意見、要望等）	10	12.2
	82	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
災害対策、救急医療体制など市の取り組みの充実	27	42.9
目標の動向をみて	11	17.5
実感としてそう思う	6	9.5
公共施設の充実やさまざまな施設のバリアフリー化が進んでいる	6	9.5
民間の福祉施設やサービスが充実している	5	7.9
その他（意見、要望等）	8	12.7
	63	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
高齢化の進展や活気が無く生きがいが感じられないなど	7	100.0
	7	100.0

重点プログラム３　『環境を守る』
～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

（１）プログラム３　全体の傾向

【現在の状況】

・プログラムが目指す都市像（環境と調和した潤いあるまち）について、DI は、21.9 ポイントで５つのプログラムの中で最も高い値を示している。

・また２つの取り組みの方向性についてもプラスの値を示しており、多くの回答者から実感が得られていると言える。

【以前との比較】

・プログラムが目指す都市像、プログラムの取り組みの方向性、いずれの DI もプラスで、現在同様、以前との比較においても、プログラム全体に対する回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－25　プログラム３　環境を守る（現在）

プログラムが目指す都市像と取り組みの方向性（現在の状況）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①+②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム3	(3-1)人と自然が共生するまち	716	27.1	41.1	12.3	11.7	7.8	68.2	19.5	48.7
	(3-2)地球環境に貢献するまち	666	13.7	29.7	26.7	19.4	10.5	43.4	29.9	13.5
	環境と調和した潤いのあるまち	655	12.5	35.7	25.5	17.3	9.0	48.2	26.3	21.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数（n）は項目によって異なる。

図表Ⅳ－26　プログラム３　環境を守る（以前との比較）

プログラムが目指す都市像と取り組みの方向性（以前との比較）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①+②	(b)=④+⑤	DI値 (a)-(b)
プログラム3	(3-1)人と自然が共生するまち	641	13.4	30.7	33.4	13.9	8.6	44.1	22.5	21.6
	(3-2)地球環境に貢献するまち	584	14.9	31.3	43.7	5.3	4.8	46.2	10.1	36.1
	環境と調和した潤いのあるまち	572	11.5	29.7	43.2	9.3	6.3	41.2	15.6	25.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数（n）は項目によって異なる。

（２）属性別の傾向

①3－1 人と自然が共生するまち

【現在の状況（年齢別）】

・すべての年齢層で DI は大きくプラスの状況にあり、「3-1 人と自然が共生するまち」に対する回答者の実感は、良好な状況にあると言える。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスの状況がみられ、以前との比較においても、回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

・このような状況のなか、29 歳以下の若年層、また、50 歳代のプラス値に若干低い傾向がみられる。

図表Ⅳ－27　3-1　人と自然が共生するまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	716	27.1	41.1	12.3	11.7	7.8	68.2	19.5	48.7
29歳以下	83	26.5	49.4	7.2	12.0	4.8	75.9	16.9	59.0
30－39歳	101	33.7	36.6	11.9	12.9	5.0	70.3	17.9	52.4
40－49歳	114	25.4	39.5	12.3	12.3	10.5	64.9	22.8	42.1
50－59歳	128	16.4	46.1	13.3	13.3	10.9	62.5	24.2	38.3
60－69歳	141	31.9	42.6	12.1	9.9	3.5	74.5	13.4	61.1
70歳以上	135	30.4	36.3	11.9	10.4	11.1	66.7	21.5	45.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 702 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－28　3-1　人と自然が共生するまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	641	13.4	30.7	33.4	13.9	8.6	44.1	22.5	21.6
29歳以下	63	7.9	25.4	36.5	17.5	12.7	33.3	30.2	3.2
30－39歳	86	15.1	25.6	33.7	15.1	10.5	40.7	25.6	15.1
40－49歳	101	6.9	33.7	33.7	10.9	14.9	40.6	25.8	14.8
50－59歳	121	9.1	24.8	39.7	14.9	11.6	33.9	26.5	7.4
60－69歳	130	14.6	38.5	29.2	13.8	3.8	53.1	17.6	35.5
70歳以上	130	23.1	31.5	30.8	11.5	3.1	54.6	14.6	40.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 703 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（地域別）】

・すべての地域でDIはプラスの状況がみられ、現状に対する回答者の実感は、概ね良好な状況にあると言える。

・また特に「本庁地域」「衣笠地域」「久里浜地域」で高い傾向がみられる。

【以前との比較（地域別）】

・すべての地域でDIはプラスの状況がみられる。以前との比較においても、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

・このような状況のなか、西地域では低い傾向がみられる。

図表Ⅳ－29　3-1　人と自然が共生するまち（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	716	27.1	41.1	12.3	11.7	7.8	68.2	19.5	48.7
本庁地域	108	26.9	45.4	8.3	13.9	5.6	72.3	19.5	52.8
追浜地域	44	29.5	36.4	6.8	13.6	13.6	65.9	27.2	38.7
田浦地域	33	33.3	36.4	6.1	15.2	9.1	69.7	24.3	45.4
逸見地域	22	27.3	31.8	27.3	4.5	9.1	59.1	13.6	45.5
衣笠地域	112	21.4	47.3	14.3	9.8	7.1	68.7	16.9	51.8
大津地域	75	25.3	41.3	16.0	6.7	10.7	66.6	17.4	49.2
浦賀地域	88	23.9	38.6	14.8	15.9	6.8	62.5	22.7	39.8
久里浜地域	88	31.8	46.6	9.1	5.7	6.8	78.4	12.5	65.9
北下浦地域	55	36.4	32.7	9.1	20.0	1.8	69.1	21.8	47.3
西地域	78	26.9	38.5	11.5	11.5	11.5	65.4	23.0	42.4

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は631件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－30　3-1　人と自然が共生するまち（以前との比較）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	641	13.4	30.7	33.4	13.9	8.6	44.1	22.5	21.6
本庁地域	97	15.5	23.7	45.4	9.3	6.2	39.2	15.5	23.7
追浜地域	39	15.4	28.2	25.6	10.3	20.5	43.6	30.8	12.8
田浦地域	28	10.7	39.3	35.7	7.1	7.1	50.0	14.2	35.8
逸見地域	21	28.6	23.8	28.6	14.3	4.8	52.4	19.1	33.3
衣笠地域	103	13.6	28.2	35.9	13.6	8.7	41.8	22.3	19.5
大津地域	70	10.0	35.7	31.4	12.9	10.0	45.7	22.9	22.8
浦賀地域	78	15.4	33.3	19.2	21.8	10.3	48.7	32.1	16.6
久里浜地域	76	10.5	42.1	31.6	10.5	5.3	52.6	15.8	36.8
北下浦地域	48	12.5	35.4	29.2	16.7	6.3	47.9	23.0	24.9
西地域	72	11.1	19.4	41.7	18.1	9.7	30.5	27.8	2.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は632件で全体とは一致しない。

②3－2 地球環境に貢献するまち

【現在の状況（男女別）】

・DI は男性と女性で傾向に大きな違いがみられ、20 ポイント以上の開きがある。

【以前との比較（男女別）】

・男女とも DI はプラスで高く、以前との比較においては、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

・現在と同様、女性のポイントが男性を上回っており、女性の実感が高い。

図表Ⅳ－31　3-2　地球環境に貢献するまち（現在）

男女別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	666	13.7	29.7	26.7	19.4	10.5	43.4	29.9	13.5
男　性	265	11.3	24.2	29.1	21.5	14.0	35.5	35.5	0.0
女　性	390	15.6	33.3	25.6	17.2	8.2	48.9	25.4	23.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数(n)は項目によって異なる。

図表Ⅳ－32　3-2　地球環境に貢献するまち（以前との比較）

男女別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	584	14.9	31.3	43.7	5.3	4.8	46.2	10.1	36.1
男　性	233	12.0	29.2	45.9	7.7	5.2	41.2	12.9	28.3
女　性	342	17.3	33.0	41.2	3.8	4.7	50.3	8.5	41.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数(n)は項目によって異なる。

【現在の状況（年齢別）】

・40 歳代を除く、すべての年齢層で DI は大きくプラスの状況にあり、「3-2 地球環境に貢献するまち」に対する回答者の実感は、概ね良好な状況にあると言える。

・DI がマイナスとなった 40 歳代は、全体との比較で、20 ポイント以上の開きがある。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、30 ポイント以上と高く、以前との比較において、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－33　3-2　地球環境に貢献するまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	666	13.7	29.7	26.7	19.4	10.5	43.4	29.9	13.5
29歳以下	78	12.8	32.1	24.4	16.7	14.1	44.9	30.8	14.1
30－39歳	93	12.9	37.6	20.4	21.5	7.5	50.5	29.0	21.5
40－49歳	107	11.2	19.6	29.0	24.3	15.9	30.8	40.2	▲ 9.4
50－59歳	115	9.6	35.7	24.3	16.5	13.9	45.3	30.4	14.9
60－69歳	132	13.6	31.1	30.3	18.9	6.1	44.7	25.0	19.7
70歳以上	129	21.7	24.0	30.2	16.3	7.8	45.7	24.1	21.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 654 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－34　3-2　地球環境に貢献するまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	584	14.9	31.3	43.7	5.3	4.8	46.2	10.1	36.1
29歳以下	51	19.6	33.3	37.3	3.9	5.9	52.9	9.8	43.1
30－39歳	79	21.5	25.3	45.6	3.8	3.8	46.8	7.6	39.2
40－49歳	96	11.5	28.1	51.0	6.3	3.1	39.6	9.4	30.2
50－59歳	107	10.3	31.8	45.8	3.7	8.4	42.1	12.1	30.0
60－69歳	122	15.6	32.8	36.9	9.8	4.9	48.4	14.7	33.7
70歳以上	120	15.8	35.8	41.7	3.3	3.3	51.6	6.6	45.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 575 件で全体とは一致しない。

③環境と調和した潤いあるまち（プログラム３の目指す都市像）

【現在の状況（年齢別）】

・すべての年齢層のDIはプラスで、回答者の実感は良好な状況にあると言えるが、40歳代、50歳代で若干低い傾向がみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・現在と同様、すべての年齢層でDIはプラスで、以前との比較においても、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－35　環境と調和した潤いあるまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	655	12.5	35.7	25.5	17.3	9.0	48.2	26.3	21.9
29歳以下	73	12.3	35.6	30.1	11.0	11.0	47.9	21.9	26.0
30－39歳	91	13.2	38.5	24.2	16.5	7.7	51.7	24.2	27.5
40－49歳	105	8.6	35.2	28.6	15.2	12.4	43.8	27.6	16.2
50－59歳	114	9.6	28.9	29.8	21.1	10.5	38.5	31.6	6.9
60－69歳	132	15.2	37.1	25.8	18.9	3.0	52.3	21.9	30.4
70歳以上	131	16.0	38.9	16.0	18.3	10.7	54.9	29.0	25.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は646件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－36　環境と調和した潤いあるまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	572	11.5	29.7	43.2	9.3	6.3	41.2	15.6	25.6
29歳以下	47	12.8	29.8	38.3	12.8	6.4	42.6	19.1	23.4
30－39歳	71	8.5	25.4	59.2	4.2	2.8	33.9	7.0	26.9
40－49歳	88	8.0	30.7	42.0	10.2	9.1	38.7	19.3	19.4
50－59歳	110	8.2	24.5	46.4	10.0	10.9	32.7	20.9	11.8
60－69歳	123	14.6	32.5	37.4	11.4	4.1	47.1	15.5	31.6
70歳以上	124	16.1	34.7	36.3	8.1	4.8	50.8	12.9	37.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は563件で全体とは一致しない。

【現在の状況（地域別）】

・すべての地域でDIはプラスの状況がみられ、現状について、各地域とも回答者の実感は良好な状況にあると言える。

・「追浜地域」「西地域」では若干低い傾向がみられる。

【以前との比較（地域別）】

・現在と同様、すべての地域でDIはプラスの状況がみられ、以前との比較においても、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

・現在と同様、「追浜地域」の実感が若干低い傾向がみられる。

図表Ⅳ－37　環境と調和した潤いあるまち（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	655	12.5	35.7	25.5	17.3	9.0	48.2	26.3	21.9
本庁地域	101	12.9	34.7	22.8	21.8	7.9	47.6	29.7	17.9
追浜地域	42	11.9	35.7	11.9	23.8	16.7	47.6	40.5	7.1
田浦地域	28	14.3	35.7	28.6	10.7	10.7	50.0	21.4	28.6
逸見地域	20	15.0	40.0	25.0	5.0	15.0	55.0	20.0	35.0
衣笠地域	102	11.8	34.3	26.5	18.6	8.8	46.1	27.4	18.7
大津地域	69	11.6	43.5	23.2	13.0	8.7	55.1	21.7	33.4
浦賀地域	81	9.9	35.8	30.9	14.8	8.6	45.7	23.4	22.3
久里浜地域	80	16.3	33.8	33.8	12.5	3.8	50.1	16.3	33.8
北下浦地域	46	10.9	39.1	23.9	21.7	4.3	50.0	26.0	24.0
西地域	78	14.1	32.1	20.5	20.5	12.8	46.2	33.3	12.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は647件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－38　環境と調和した潤いあるまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	572	11.5	29.7	43.2	9.3	6.3	41.2	15.6	25.6
本庁地域	84	17.9	27.4	45.2	4.8	4.8	45.3	9.6	35.7
追浜地域	34	8.8	26.5	35.3	11.8	17.6	35.3	29.4	5.9
田浦地域	24	8.3	33.3	50.0	8.3	0.0	41.6	8.3	33.3
逸見地域	19	15.8	31.6	31.6	5.3	15.8	47.4	21.1	26.3
衣笠地域	93	8.6	34.4	37.6	14.0	5.4	43.0	19.4	23.6
大津地域	63	7.9	34.9	39.7	7.9	9.5	42.8	17.4	25.4
浦賀地域	70	14.3	24.3	42.9	14.3	4.3	38.6	18.6	20.0
久里浜地域	71	11.3	32.4	45.1	9.9	1.4	43.7	11.3	32.4
北下浦地域	41	14.6	26.8	46.3	9.8	2.4	41.4	12.2	29.2
西地域	65	9.2	27.7	47.7	4.6	10.8	36.9	15.4	21.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は564件で全体とは一致しない。

（３）主な回答理由

①3－1 人と自然が共生するまち

【現在について】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
海、山、公園など自然を身近に感じたり触れ合えたりする機会が多い	151	69.9
自然環境の整備・保護が進んでいる	46	21.3
レクリエーションやレジャーに適している	8	3.7
他の自治体と比較すると良い	6	2.8
その他	5	2.3
	216	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自然環境が減少したり保全が十分でなかったりする	47	47.0
マンションの乱立など自然を損なう開発が行われている	35	35.0
事業や施策が実感できなかったり費用を掛け過ぎなように感じる	5	5.0
公園など自然と触れ合える身近な場所がない	3	3.0
その他	10	10.0
	100	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
公園の整備や自然環境の保護が進められている	27	31.4
以前より良くなってきている	22	25.6
市の取り組みが充実している。目標の動向	17	19.8
その他、意見など	20	23.3
	86	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
マンションの乱立など自然を損なう開発が行われている	46	58.2
以前より自然が減少している。	14	17.7
海や河川、住環境が悪化している	7	8.9
その他、意見など	12	15.2
	79	100.0

②3－2　地球環境に貢献するまち

【現在について】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
ごみの減量化、リサイクル、EVなどに関する市の取り組みが充実している	45	40.5
分別の取り組みがしっかり行われている	29	26.1
リサイクルなど市民の意識が向上している	12	10.8
自然環境に恵まれている	5	4.5
その他、意見など	20	18.0
	111	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自然エネルギーに関する取り組みなど市の取り組みが不十分	24	26.4
貢献していると思えない	15	16.5
原子力関係施設や基地がある	14	15.4
分別がしっかり行われていない、住民の意識が低い	12	13.2
緑が多く失われている	11	12.1
その他、意見など	15	16.5
	91	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
目標の動向（ごみの総排出量が減っている）	21	25.6
ごみの減量化、リサイクル、EVなどに関する市の取り組みが充実してきている	21	25.6
良くなってきている。環境に対する市民の意識が向上している	19	23.2
ごみの減量化、リサイクルなどがしっかりできている	14	17.1
その他、意見など	7	8.5
	82	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
住宅開発などで緑が多く失われている	10	38.5
市民のモラル、意識が低い	5	19.2
自然エネルギーに関する取り組みなど市の取り組みが不十分	5	19.2
その他、意見など	6	23.1
	26	100.0

③環境と調和した潤いあるまち（プログラム３の目指す都市像）

【現在について】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
海や山など自然環境が身近にある	45	44.6
市の取り組みや施設が充実している	29	28.7
良くなってきている。環境に対する市民の意識が向上している	13	12.9
その他、意見など	14	13.9
	101	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自然が多く失われている。開発が進んでいるなど	23	51.1
調和、潤いを感じない	21	46.7
市の取り組み不足	8	17.8
その他、意見など	16	35.6
	45	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
ごみの減量化、リサイクル、EVなど市の取り組みが充実してきている	20	33.3
以前よりまちがきれいになるなど良くなっている	19	31.7
環境に対する住民意識が向上している	14	23.3
自然環境に恵まれている	3	5.0
その他、意見など	4	6.7
	60	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自然が多く失われている。海や山に人工の構造物が多い。	29	70.7
潤わない、調和していると思えない、市の取り組みが不十分	6	14.6
その他、意見など	6	14.6
	41	100.0

重点プログラム４　『にぎわいを生む』
～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

（１）プログラム４　全体の傾向

【現在の状況】

・プログラムが目指す都市像（にぎわいと活力に満ちたまち）、２つの取り組みの方向性のいずれの DI もマイナスを示している。

・特に、4-1 地域経済の活性化と雇用の創出については、マイナス値が大きく、回答者からの実感が得られていない状況にあると言える。

【以前との比較】

・現在と同様、プログラムの取り組みの方向性のうち 4-1 地域経済の活性化と雇用の創出については、マイナス値が大きい。

・一方、「4-2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」の DI はプラスで、以前との比較においては、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

・また、プログラムが目指す都市像（にぎわいと活力に満ちたまち）の DI はマイナスではあるが、現在の状況で示された値ほど大きくはない。

図表Ⅳ－39　プログラム４　にぎわいを生む（現在）

各プログラムの目指す都市像と重点プログラムの目的（現在の状況）		件数（人）	単位(%)					(ポイント)		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
プログラム4	(4-1)地域経済の活性化と雇用の創出	653	6.9	13.3	25.6	32.2	22.1	20.2	54.3	▲34.1
	(4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	685	10.4	26.6	24.5	24.5	14.0	37.0	38.5	▲1.5
	にぎわいと活力に満ちたまち	705	6.8	20.3	24.8	31.6	16.5	27.1	48.1	▲21.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は項目によって異なる。

図表Ⅳ－40　プログラム４　にぎわいを生む（以前との比較）

施策の方向性とプログラムが目指す都市像(以前との比較)		件数(人)	単位(%)					(ポイント)		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
プログラム4	(4-1)地域経済の活性化と雇用の創出	595	7.7	14.5	38.8	22.2	16.8	22.2	39.0	▲16.8
	(4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	609	11.7	26.3	42.4	10.7	9.0	38.0	19.7	18.3
	にぎわいと活力に満ちたまち	629	6.5	21.1	43.2	18.6	10.5	27.6	29.1	▲1.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は項目によって異なる。

（２）属性別の傾向

①4－1 地域経済の活性化と雇用の創出

【現在の状況（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はマイナスを示しており、現状に対する実感は得られていない状況にある。

・特に 40 歳代、50 歳代でその傾向が強くみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・現在と同様、いずれの年齢層も DI はマイナス。以前との比較でも、回答者の実感は得られていない状況にある。若年層では、比較的マイナス値が低い傾向がみられる。

図表Ⅳ－41　4－1 地域経済の活性化と雇用の創出（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	653	6.9	13.3	25.6	32.2	22.1	20.2	54.3	▲ 34.1
29歳以下	71	14.1	16.9	21.1	25.4	22.5	31.0	47.9	▲ 16.9
30－39歳	89	10.1	16.9	24.7	28.1	20.2	27.0	48.3	▲ 21.3
40－49歳	110	5.5	15.5	20.9	34.5	23.6	21.0	58.1	▲ 37.1
50－59歳	115	4.3	11.3	27.8	31.3	25.2	15.6	56.5	▲ 40.9
60－69歳	131	5.3	14.5	26.7	35.9	17.6	19.8	53.5	▲ 33.7
70歳以上	127	6.3	8.7	28.3	33.1	23.6	15.0	56.7	▲ 41.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 643 件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－42　4－1 地域経済の活性化と雇用の創出（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	595	7.7	14.5	38.8	22.2	16.8	22.2	39.0	▲ 16.8
29歳以下	54	16.7	13.0	33.3	14.8	22.2	29.6	37.0	▲ 7.4
30－39歳	77	3.9	27.3	28.6	26.0	14.3	31.2	40.3	▲ 9.1
40－49歳	98	9.2	15.3	32.7	22.4	20.4	24.5	42.8	▲ 18.3
50－59歳	112	7.1	10.7	42.0	24.1	16.1	17.8	40.2	▲ 22.4
60－69歳	125	6.4	12.8	44.0	24.0	12.8	19.2	36.8	▲ 17.6
70歳以上	121	7.4	11.6	44.6	18.2	18.2	19.0	36.4	▲ 17.4

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 587 件で全体とは一致しない

②4-2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【現在の状況（年齢別）】

・30 歳代を除く年齢層で DI がマイナスで、現状に対する実感は得られていない状況にある。

・一方で、30 歳代の傾向は大きく異なり、年齢により実感に大きな差がみられる。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、以前との比較においては、回答者の実感は概ね良好な状況にあると言える。

・また、現在と同様、30 歳代のポイントが高いことが特徴としてみられる。

図表Ⅳ－43　4－2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	685	10.4	26.6	24.5	24.5	14.0	37.0	38.5	▲ 1.5
29歳以下	77	16.9	20.8	19.5	26.0	16.9	37.7	42.9	▲ 5.2
30－39歳	100	17.0	38.0	16.0	15.0	14.0	55.0	29.0	26.0
40－49歳	115	5.2	31.3	23.5	18.3	21.7	36.5	40.0	▲ 3.5
50－59歳	118	8.5	25.4	27.1	28.8	10.2	33.9	39.0	▲ 5.1
60－69歳	135	8.9	25.2	23.0	31.9	11.1	34.1	43.0	▲ 8.9
70歳以上	129	9.3	20.2	33.3	24.8	12.4	29.5	37.2	▲ 7.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 674 件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－44　4－2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	609	11.7	26.3	42.4	10.7	9.0	38.0	19.7	18.3
29歳以下	57	14.0	28.1	38.6	8.8	10.5	42.1	19.3	22.8
30－39歳	88	19.3	35.2	31.8	4.5	9.1	54.5	13.6	40.9
40－49歳	96	10.4	22.9	44.8	11.5	10.4	33.3	21.9	11.4
50－59歳	116	6.9	28.4	45.7	11.2	7.8	35.3	19.0	16.3
60－69歳	126	12.7	18.3	42.1	18.3	8.7	31.0	27.0	4.0
70歳以上	118	10.2	28.0	45.8	6.8	9.3	38.2	16.1	22.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 601 件で全体とは一致しない

【現在の状況（地域別）】

・DI は地域によってばらつきが見られる。

・「本庁地域」「追浜地域」「北下浦地域」などでプラスの傾向がみられる。一方、「田浦地域」「衣笠地域」「西地域」などでマイナスとなっている。

【以前との比較（地域別）】

・すべての地域で DI はプラスで、以前との比較では、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

・また、現在と同様、「追浜地域」のポイントが高い傾向がみられる。

図表Ⅳ－45　4－2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	685	10.4	26.6	24.5	24.5	14.0	37.0	38.5	▲ 1.5
本庁地域	104	10.6	26.0	30.8	22.1	10.6	36.6	32.7	3.9
追浜地域	42	16.7	31.0	23.8	19.0	9.5	47.7	28.5	19.2
田浦地域	33	3.0	24.2	33.3	27.3	12.1	27.2	39.4	▲ 12.2
逸見地域	21	4.8	42.9	23.8	9.5	19.0	47.7	28.5	19.2
衣笠地域	111	8.1	26.1	19.8	30.6	15.3	34.2	45.9	▲ 11.7
大津地域	74	8.1	25.7	28.4	23.0	14.9	33.8	37.9	▲ 4.1
浦賀地域	84	11.9	22.6	26.2	25.0	14.3	34.5	39.3	▲ 4.8
久里浜地域	81	17.3	23.5	19.8	29.6	9.9	40.8	39.5	1.3
北下浦地域	49	8.2	36.7	18.4	18.4	18.4	44.9	36.8	8.1
西地域	76	9.2	26.3	21.1	23.7	19.7	35.5	43.4	▲ 7.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 675 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－46　4－2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり（以前との比較）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	609	11.7	26.3	42.4	10.7	9.0	38.0	19.7	18.3
本庁地域	88	13.6	30.7	36.4	12.5	6.8	44.3	19.3	25.0
追浜地域	38	21.1	34.2	31.6	7.9	5.3	55.3	13.2	42.1
田浦地域	27	7.4	18.5	63.0	3.7	7.4	25.9	11.1	14.8
逸見地域	21	4.8	33.3	47.6	0.0	14.3	38.1	14.3	23.8
衣笠地域	102	13.7	16.7	51.0	7.8	10.8	30.4	18.6	11.8
大津地域	66	6.1	33.3	33.3	15.2	12.1	39.4	27.3	12.1
浦賀地域	77	9.1	28.6	46.8	7.8	7.8	37.7	15.6	22.1
久里浜地域	71	11.3	22.5	43.7	16.9	5.6	33.8	22.5	11.3
北下浦地域	45	15.6	26.7	40.0	6.7	11.1	42.3	17.8	24.5
西地域	67	11.9	25.4	35.8	14.9	11.9	37.3	26.8	10.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 602 件で全体とは一致しない。

③にぎわいと活力に満ちたまち（プログラム４の目指す都市像）

【現在の状況（年齢別）】

・DI は、20、30 歳代でプラスとなっている。一方、40 歳以上ではマイナスの値が高く、回答者の実感は年齢によってばらつきがみられる。

・40 歳以上の世代には、特に地域経済の活性化と雇用の創出の面で実感が得られていないことが考えられる。

【以前との比較（年齢別）】

・現在と同様、年齢によって実感にばらつきが見られる。30 歳以下の若年層の DI がプラス値を示す一方、40 歳～60 歳代の回答者からは実感が得られていない状況にある。

図表Ⅳ－47　にぎわいと活力に満ちたまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	705	6.8	20.3	24.8	31.6	16.5	27.1	48.1	▲ 21.0
29歳以下	83	14.5	30.1	18.1	19.3	18.1	44.6	37.3	7.2
30－39歳	100	13.0	25.0	26.0	26.0	10.0	38.0	36.0	2.0
40－49歳	113	2.7	18.6	29.2	31.0	18.6	21.3	49.6	▲ 28.3
50－59歳	126	6.3	14.3	22.2	32.5	24.6	20.6	57.1	▲ 36.5
60－69歳	138	3.6	16.7	28.3	34.1	17.4	20.3	51.5	▲ 31.2
70歳以上	135	4.4	20.0	25.2	39.3	11.1	24.4	50.4	▲ 26.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 695 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－48　にぎわいと活力に満ちたまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	629	6.5	21.1	43.2	18.6	10.5	27.6	29.1	▲ 1.5
29歳以下	60	8.3	25.0	36.7	23.3	6.7	33.3	30.0	3.3
30－39歳	85	7.1	34.1	38.8	10.6	9.4	41.2	20.0	21.2
40－49歳	104	6.7	18.3	48.1	14.4	12.5	25.0	26.9	▲ 1.9
50－59歳	115	8.7	15.7	40.9	21.7	13.0	24.4	34.7	▲ 10.3
60－69歳	133	4.5	16.5	43.6	22.6	12.8	21.0	35.4	▲ 14.4
70歳以上	125	5.6	22.4	46.4	18.4	7.2	28.0	25.6	2.4

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 622 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（地域別）】

・すべての地域でDIはマイナスで、現状について、回答者から実感が得られていない状況にある。特に、「衣笠地域」でマイナス値が大きい傾向がみられる。

【以前との比較（地域別）】

・DIは地域によってばらつきがみられる。「久里浜地域」「浦賀地域」などでプラスになっている。

・一方で「西地域」「逸見地域」「衣笠地域」などでは、以前との比較でも、マイナス値が大きい傾向がみられる。

図表Ⅳ－49　にぎわいと活力に満ちたまち（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	705	6.8	20.3	24.8	31.6	16.5	27.1	48.1	▲ 21.0
本庁地域	106	7.5	17.9	32.1	29.2	13.2	25.4	42.4	▲ 17.0
追浜地域	45	2.2	24.4	35.6	22.2	15.6	26.6	37.8	▲ 11.2
田浦地域	30	6.7	20.0	26.7	36.7	10.0	26.7	46.7	▲ 20.0
逸見地域	19	0.0	21.1	26.3	15.8	36.8	21.1	52.6	▲ 31.5
衣笠地域	110	7.3	13.6	20.9	39.1	19.1	20.9	58.2	▲ 37.3
大津地域	76	2.6	22.4	26.3	35.5	13.2	25.0	48.7	▲ 23.7
浦賀地域	89	5.6	25.8	31.5	23.6	13.5	31.4	37.1	▲ 5.7
久里浜地域	86	11.6	25.6	14.0	30.2	18.6	37.2	48.8	▲ 11.6
北下浦地域	54	7.4	14.8	25.9	38.9	13.0	22.2	51.9	▲ 29.7
西地域	80	8.8	17.5	18.8	31.3	23.8	26.3	55.1	▲ 28.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は695件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－50　にぎわいと活力に満ちたまち（以前との比較）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	629	6.5	21.1	43.2	18.6	10.5	27.6	29.1	▲ 1.5
本庁地域	95	6.3	21.1	49.5	14.7	8.4	27.4	23.1	4.3
追浜地域	39	5.1	30.8	28.2	17.9	17.9	35.9	35.8	0.1
田浦地域	28	7.1	14.3	50.0	25.0	3.6	21.4	28.6	▲ 7.2
逸見地域	18	5.6	11.1	33.3	27.8	22.2	16.7	50.0	▲ 33.3
衣笠地域	102	6.9	15.7	46.1	19.6	11.8	22.6	31.4	▲ 8.8
大津地域	69	2.9	21.7	47.8	20.3	7.2	24.6	27.5	▲ 2.9
浦賀地域	77	7.8	27.3	39.0	19.5	6.5	35.1	26.0	9.1
久里浜地域	77	10.4	26.0	37.7	18.2	7.8	36.4	26.0	10.4
北下浦地域	48	8.3	25.0	41.7	12.5	12.5	33.3	25.0	8.3
西地域	69	4.3	13.0	44.9	20.3	17.4	17.3	37.7	▲ 20.4

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は622件で全体とは一致しない

（３）主な回答理由

①4－1　地域経済の活性化と雇用の創出

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
地産地消や企業立地など市の取り組みが進んでいる	17	30.4
イベントや軍港めぐりなどの観光事業が充実している。	12	21.4
地域ブランドの創出に成功している	8	14.3
活気があると思う	5	8.9
テレビ、雑誌などメディアで取り上げられることが多くなった	3	5.4
その他（意見、要望等）	11	19.6
	56	25.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
働く場が少ない、求人が少ないなど、雇用環境が悪い	53	29.8
商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退	46	25.8
企業が少ない、企業が転出・撤退している	24	13.5
人口、買い物客等の流出	13	7.3
市の取り組みの効果が無い	14	7.9
まちににぎわいや活気を感じない	9	5.1
その他（意見、要望等）	19	10.7
	178	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
地産地消や企業立地など市の取り組みの効果がみられる	12	36.4
イベントや軍港めぐりなどの集客事業が充実してきた	5	15.2
テレビ、雑誌などメディアで多く取り上げられ、知名度が上がった	4	12.1
活気があると思う	2	6.1
その他（意見、要望等）	10	30.3
	33	48.5

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
商店街の空き店舗の増加、地域経済の衰退	33	27.5
企業が少ない、企業が転出・撤退している	29	24.2
働く場が少ない、求人が少ないなど、雇用環境が悪い	22	18.3
まちににぎわいや活気を感じない	12	10.0
市の取り組みの効果が無い	4	3.3
その他（意見、要望等）	20	16.7
	120	100.0

②4－2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
マイホームへの支援、観光事業など市の取り組みが効果をあげている	42	37.2
豊かな自然環境、調和のとれた住宅地等がある。	19	16.8
イベントや軍港めぐりなどの観光事業が充実し集客している。	10	8.8
マンション、住宅地の開発が進んで移住してくる人が多い	8	7.1
魅力的なまちだと思う	5	4.4
その他（意見、要望等）	29	25.7
	113	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
交通、買い物が不便、治安が悪いなど定住する魅力が無い	29	26.6
魅力的な商業施設がない、商店街が衰退している	19	17.4
集客、定住、子育て施策など、他都市と比べて魅力や効果が無い	17	15.6
まちに活気がなく、人口、買い物客等が流出している	13	11.9
観光、集客が弱い	8	7.3
その他（意見、要望等）	23	21.1
	109	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
イベントや軍港めぐりなどの集客事業が充実。知名度が上がった	28	45.9
定住や集客に対する市の取り組みの効果が感じられる	10	16.4
自然環境、商業施設、交通、気候などの面で生活しやすい	7	11.5
市街地・住宅地の整備が進み、まちに活気を感じている	7	11.5
その他（意見、要望等）	9	14.8
	61	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
商店街の空き店舗の増加、企業が転出・撤退している地域経済の衰退	20	35.7
集客、定住、子育て施策など、他都市と比べて魅力や効果が無い	7	12.5
通勤通学・買い物に不便等、利便性が悪く定住化が進まない	6	10.7
まちに活気がなく、人口、買い物客等が流出している	4	7.1
緑の減少、乱開発など、自然環境が悪化している	4	7.1
その他（意見、要望等）	15	26.8
	56	100.0

③にぎわいと活力に満ちたまち（プログラム４の目指す都市像）

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
さまざまなイベント開催や海軍カレーなどの取り組み	20	27.4
まちがにぎやかで活気があると思う	19	26.0
テレビ、雑誌などメディアで取り上げられることが多くなった	11	15.1
観光施設や地産地消など市の取り組みの充実	8	11.0
その他（意見、要望等）	15	20.5
	73	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
商店街の空き店舗の増加、中心市街地の空洞化、衰退	39	29.5
まちににぎわいや活気を感じない	35	26.5
イベントや観光施設などが充実していない	24	18.2
人口減少、高齢化の進展や企業の撤退、雇用環境の悪化	9	6.8
その他（意見、要望等）	25	18.9
	132	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
さまざまなイベントや海軍カレー、ネイビーバーガーなどの取り組み	14	31.1
以前より良くなっていると思う	11	24.4
イベントや地産地消など市の取り組みやＰＲが充実してきた	6	13.3
テレビ、雑誌などメディアで取り上げられることが多くなった	5	11.1
その他（意見、要望等）	9	20.0
	45	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
商店街の空き店舗の増加、中心市街地の空洞化	30	43.5
まちに活気がなくなっている。	13	18.8
人口減少、高齢化の進展	7	10.1
市の取り組みやＰＲの不足	7	10.1
景気の低迷などにより以前より悪くなっていると思う	5	7.2
その他（意見、要望等）	7	10.1
	69	100.0

重点プログラム５　『地域力を育む』
～地域と住民の主体性が発揮できる枠組みづくり
・地域を支えるコミュニティー機能の強化～

（１）プログラム５　全体の傾向

【現在の状況】

・プログラムが目指す都市像（住民自治に根差したまち）、２つの取り組みの方向性のいずれの DI もプラスで、良好な状況にある。

【以前との比較】

・現在と同様、プログラムが目指す都市像（住民自治に根差したまち）、２つの取り組みの方向性のいずれの DI もプラスで、良好な状況にある。

図表Ⅳ－51　地域力を育む（現在）

各プログラムの目指す都市像と重点プログラムの目的（現在の状況）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
プログラム５	(5-1) 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	599	11.9	28.9	28.7	21.2	9.3	40.8	30.5	10.3
	(5-2) 地域を支えるコミュニティー機能の強化	630	11.4	30.6	29.5	19.0	9.4	42.0	28.4	13.6
	住民自治に根差したまち	586	11.3	28.3	28.7	22.5	9.2	39.6	31.7	7.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数（n）は項目によって異なる。

図表Ⅳ－52　地域力を育む（以前との比較）

施策の方向性とプログラムが目指す都市像（以前との比較）		件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
			①よくなっている	②どちらかというと良くなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④+⑤	D.I値 (a)-(b)
プログラム5	(5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	516	12.2	26.9	51.9	5.2	3.7	39.1	8.9	30.2
	(5-2)地域を支えるコミュニティー機能の強化	536	9.7	26.5	51.9	7.5	4.5	36.2	12.0	24.2
	住民自治に根差したまち	503	10.9	24.5	54.3	6.0	4.4	35.4	10.4	25.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。回答件数（n）は項目によって異なる。

（２）属性別の傾向

①5－1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【現在の状況（年齢別）】

・40 歳代以外の年齢層で DI はプラスを示しており現状に対する回答者の実感は、概ね良好な状況にあると言える。

・DI がマイナスとなった 40 歳代は全体との比較で、15 ポイント以上の開きがある。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、以前との比較においては、回答者の実感は良好な状況にあると言える。30 歳代、70 歳以上のポイントが高いことが特徴として見られる。

図表Ⅳ－53　5－1　地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	599	11.9	28.9	28.7	21.2	9.3	40.8	30.5	10.3
29歳以下	59	11.9	22.0	37.3	16.9	11.9	33.9	28.8	5.1
30－39歳	75	14.7	26.7	32.0	22.7	4.0	41.4	26.7	14.7
40－49歳	96	9.4	25.0	25.0	22.9	17.7	34.4	40.6	▲ 6.2
50－59歳	111	11.7	30.6	28.8	19.8	9.0	42.3	28.8	13.5
60－69歳	120	10.0	32.5	25.8	22.5	9.2	42.5	31.7	10.8
70歳以上	128	14.1	31.3	26.6	21.9	6.3	45.4	28.2	17.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 589 件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－54　5－1　地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	516	12.2	26.9	51.9	5.2	3.7	39.1	8.9	30.2
29歳以下	41	17.1	14.6	53.7	12.2	2.4	31.7	14.6	17.1
30－39歳	64	14.1	34.4	42.2	4.7	4.7	48.5	9.4	39.1
40－49歳	80	12.5	18.8	61.3	3.8	3.8	31.3	7.6	23.7
50－59歳	96	10.4	27.1	51.0	8.3	3.1	37.5	11.4	26.1
60－69歳	114	11.4	27.2	50.9	5.3	5.3	38.6	10.6	28.0
70歳以上	113	12.4	31.9	51.3	1.8	2.7	44.3	4.5	39.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 508 件で全体とは一致しない

【現在の状況（地域別）】

・DI は「田浦地域」「西地域」でマイナスを示している。

【以前との比較（地域別）】

・すべての地域で DI はプラスで、以前との比較では、回答者の実感は良好な状況にある。
　特に「追浜地域」「久里浜地域」「浦賀地域」などでプラス値が高い傾向がみられる。

・一方、「西地域」「田浦地域」ではプラス値が低く、現在と同様の傾向がみられる。

図表Ⅳ－55　5－2　地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	599	11.9	28.9	28.7	21.2	9.3	40.8	30.5	10.3
本庁地域	94	16.0	24.5	29.8	19.1	10.6	40.5	29.7	10.8
追浜地域	37	18.9	29.7	29.7	8.1	13.5	48.6	21.6	27.0
田浦地域	26	0.0	30.8	30.8	30.8	7.7	30.8	38.5	▲ 7.7
逸見地域	17	0.0	47.1	35.3	11.8	5.9	47.1	17.7	29.4
衣笠地域	100	13.0	27.0	29.0	21.0	10.0	40.0	31.0	9.0
大津地域	62	6.5	35.5	27.4	17.7	12.9	42.0	30.6	11.4
浦賀地域	77	7.8	31.2	35.1	22.1	3.9	39.0	26.0	13.0
久里浜地域	71	15.5	31.0	23.9	23.9	5.6	46.5	29.5	17.0
北下浦地域	45	17.8	28.9	15.6	31.1	6.7	46.7	37.8	8.9
西地域	61	9.8	19.7	29.5	24.6	16.4	29.5	41.0	▲ 11.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 590 件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－56　5－2　地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり（以前との比較）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	516	12.2	26.9	51.9	5.2	3.7	39.1	8.9	30.2
本庁地域	80	16.3	20.0	57.5	2.5	3.8	36.3	6.3	30.0
追浜地域	31	19.4	29.0	45.2	3.2	3.2	48.4	6.4	42.0
田浦地域	18	0.0	27.8	55.6	11.1	5.6	27.8	16.7	11.1
逸見地域	15	0.0	46.7	46.7	6.7	0.0	46.7	6.7	40.0
衣笠地域	91	15.4	20.9	51.6	7.7	4.4	36.3	12.1	24.2
大津地域	55	7.3	30.9	52.7	3.6	5.5	38.2	9.1	29.1
浦賀地域	70	8.6	40.0	44.3	7.1	0.0	48.6	7.1	41.5
久里浜地域	57	17.5	22.8	56.1	1.8	1.8	40.3	3.6	36.7
北下浦地域	41	17.1	22.0	51.2	4.9	4.9	39.1	9.8	29.3
西地域	51	5.9	27.5	51.0	7.8	7.8	33.4	15.6	17.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 509 件で全体とは一致しない

②5－2　地域を支えるコミュニティー機能の強化

【現在の状況（年齢別）】

・すべての年齢層でDIはプラスで、現状に対する、回答者の実感は良好な状況にあると言える。特に60歳以上の高齢層のポイントが高いことが特徴として見られる。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層でDIはプラスで、以前との比較においては、回答者の実感は良好な状況にあると言える。70歳以上の高齢層のポイントが高いことが特徴としてみられる。

図表Ⅳ－57　5－2　地域を支えるコミュニティー機能の強化（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	630	11.4	30.6	29.5	19.0	9.4	42.0	28.4	13.6
29歳以下	70	14.3	28.6	25.7	18.6	12.9	42.9	31.4	11.4
30－39歳	81	9.9	30.9	23.5	23.5	12.3	40.8	35.8	5.0
40－49歳	98	9.2	28.6	29.6	21.4	11.2	37.8	32.6	5.2
50－59歳	116	8.6	31.9	32.8	16.4	10.3	40.5	26.7	13.8
60－69歳	128	10.9	33.6	32.8	16.4	6.3	44.5	22.7	21.8
70歳以上	127	15.7	29.1	29.1	19.7	6.3	44.8	26.0	18.8

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は620件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－58　5－2　地域を支えるコミュニティー機能の強化（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	536	9.7	26.5	51.9	7.5	4.5	36.2	12.0	24.2
29歳以下	44	11.4	18.2	52.3	13.6	4.5	29.5	18.2	11.4
30－39歳	65	7.7	24.6	50.8	9.2	7.7	32.3	16.9	15.4
40－49歳	81	7.4	21.0	58.0	6.2	7.4	28.4	13.6	14.8
50－59歳	101	4.0	22.8	60.4	8.9	4.0	26.8	12.9	13.9
60－69歳	123	11.4	30.1	46.3	8.1	4.1	41.5	12.2	29.3
70歳以上	115	15.7	33.9	45.2	3.5	1.7	49.6	5.2	44.4

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は529件で全体とは一致しない

【現在の状況（地域別）】

・DI は地域によってばらつきが見られる。「追浜地域」「大津地域」「浦賀地域」でプラス値が高い傾向がみられる一方、「田浦地域」「衣笠地域」では、プラスマイナスゼロとなっている。

【以前との比較（地域別）】

・すべての地域で DI はプラスの状況がみられ、以前との比較では、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－59　5－2　地域を支えるコミュニティー機能の強化（現在）

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	630	11.4	30.6	29.5	19.0	9.4	42.0	28.4	13.6
本庁地域	98	11.2	25.5	34.7	16.3	12.2	36.7	28.5	8.2
追浜地域	39	15.4	35.9	30.8	7.7	10.3	51.3	18.0	33.3
田浦地域	29	6.9	27.6	31.0	27.6	6.9	34.5	34.5	0.0
逸見地域	18	11.1	38.9	22.2	16.7	11.1	50.0	27.8	22.2
衣笠地域	100	11.0	23.0	32.0	24.0	10.0	34.0	34.0	0.0
大津地域	66	6.1	36.4	30.3	18.2	9.1	42.5	27.3	15.2
浦賀地域	74	8.1	40.5	29.7	16.2	5.4	48.6	21.6	27.0
久里浜地域	77	16.9	33.8	26.0	15.6	7.8	50.7	23.4	27.3
北下浦地域	48	20.8	25.0	22.9	27.1	4.2	45.8	31.3	14.5
西地域	72	8.3	30.6	26.4	20.8	13.9	38.9	34.7	4.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 621 件で全体とは一致しない

図表Ⅳ－60　5－2　地域を支えるコミュニティー機能の強化（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	536	9.7	26.5	51.9	7.5	4.5	36.2	12.0	24.2
本庁地域	83	10.8	15.7	57.8	12.0	3.6	26.5	15.6	10.9
追浜地域	33	21.2	24.2	42.4	12.1	0.0	45.4	12.1	33.3
田浦地域	23	0.0	26.1	65.2	4.3	4.3	26.1	8.6	17.5
逸見地域	17	11.8	35.3	47.1	5.9	0.0	47.1	5.9	41.2
衣笠地域	87	10.3	23.0	51.7	8.0	6.9	33.3	14.9	18.4
大津地域	58	6.9	25.9	53.4	6.9	6.9	32.8	13.8	19.0
浦賀地域	65	7.7	38.5	46.2	6.2	1.5	46.2	7.7	38.5
久里浜地域	63	12.7	33.3	46.0	6.3	1.6	46.0	7.9	38.1
北下浦地域	41	12.2	26.8	51.2	2.4	7.3	39.0	9.7	29.3
西地域	60	5.0	26.7	53.3	6.7	8.3	31.7	15.0	16.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 530 件で全体とは一致しない

③住民自治に根差したまち

【現在の状況（年齢別）】

・40 歳代を除く、すべての年齢層で DI はプラスで、概ね良好な状況であると言える。

【以前との比較（年齢別）】

・すべての年齢層で DI はプラスで、以前との比較においては、回答者の実感は良好な状況にあると言える。70 歳以上の高齢層のポイントが高いことが特徴としてみられる。

図表Ⅳ－61　住民自治に根差したまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	586	11.3	28.3	28.7	22.5	9.2	39.6	31.7	7.9
29歳以下	54	11.1	35.2	25.9	14.8	13.0	46.3	27.8	18.5
30－39歳	80	11.3	31.3	27.5	18.8	11.3	42.6	30.1	12.5
40－49歳	86	11.6	16.3	31.4	26.7	14.0	27.9	40.7	▲ 12.8
50－59歳	109	9.2	27.5	30.3	22.9	10.1	36.7	33.0	3.7
60－69歳	119	10.9	26.9	29.4	25.2	7.6	37.8	32.8	5.0
70歳以上	130	13.1	33.1	27.7	22.3	3.8	46.2	26.1	20.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 578 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－62　住民自治に根差したまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	503	10.9	24.5	54.3	6.0	4.4	35.4	10.4	25.0
29歳以下	36	13.9	22.2	58.3	2.8	2.8	36.1	5.6	30.6
30－39歳	61	8.2	27.9	57.4	1.6	4.9	36.1	6.5	29.6
40－49歳	69	8.7	11.6	66.7	10.1	2.9	20.3	13.0	7.3
50－59歳	99	7.1	17.2	60.6	8.1	7.1	24.3	15.2	9.1
60－69歳	111	13.5	26.1	46.8	8.1	5.4	39.6	13.5	26.1
70歳以上	121	14.0	34.7	45.5	3.3	2.5	48.7	5.8	42.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 497 件で全体とは一致しない。

【現在の状況（地域別）】

・DI は地域によってばらつきが見られる。「追浜地域」「大津地域」「浦賀地域」などではプラスの傾向がみられる一方、「田浦地域」「西地域」などでマイナスとなっている。

【以前との比較（地域別）】

・すべての地域で DI はプラスで、以前との比較では、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ⅳ－63　住民自治に根差したまち（現在）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	586	11.3	28.3	28.7	22.5	9.2	39.6	31.7	7.9
本庁地域	84	14.3	22.6	28.6	26.2	8.3	36.9	34.5	2.4
追浜地域	38	10.5	42.1	28.9	13.2	5.3	52.6	18.5	34.1
田浦地域	29	6.9	13.8	41.4	24.1	13.8	20.7	37.9	▲ 17.2
逸見地域	19	10.5	36.8	26.3	10.5	15.8	47.3	26.3	21.0
衣笠地域	94	9.6	25.5	27.7	28.7	8.5	35.1	37.2	▲ 2.1
大津地域	60	13.3	33.3	30.0	11.7	11.7	46.6	23.4	23.2
浦賀地域	71	8.5	36.6	31.0	18.3	5.6	45.1	23.9	21.2
久里浜地域	71	12.7	32.4	26.8	21.1	7.0	45.1	28.1	17.0
北下浦地域	46	8.7	26.1	26.1	34.8	4.3	34.8	39.1	▲ 4.3
西地域	66	13.6	18.2	27.3	24.2	16.7	31.8	40.9	▲ 9.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 578 件で全体とは一致しない。

図表Ⅳ－64　住民自治に根差したまち（以前との比較）

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	503	10.9	24.5	54.3	6.0	4.4	35.4	10.4	25.0
本庁地域	74	12.2	23.0	52.7	9.5	2.7	35.2	12.2	23.0
追浜地域	36	19.4	22.2	44.4	8.3	5.6	41.6	13.9	27.7
田浦地域	22	4.5	9.1	77.3	9.1	0.0	13.6	9.1	4.5
逸見地域	18	11.1	27.8	55.6	5.6	0.0	38.9	5.6	33.3
衣笠地域	84	9.5	25.0	51.2	6.0	8.3	34.5	14.3	20.2
大津地域	54	11.1	24.1	61.1	0.0	3.7	35.2	3.7	31.5
浦賀地域	63	9.5	27.0	54.0	6.3	3.2	36.5	9.5	27.0
久里浜地域	58	12.1	25.9	53.4	6.9	1.7	38.0	8.6	29.4
北下浦地域	37	13.5	27.0	48.6	8.1	2.7	40.5	10.8	29.7
西地域	51	7.8	25.5	54.9	2.0	9.8	33.3	11.8	21.5

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 497件で全体とは一致しない。

（３）主な回答理由

①5－1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【現在について】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自治会活動や見守り隊やクリーン活動などの地域の主体的な活動が盛ん	57	71.3
市の取り組みが充実している	14	17.5
そう思う	3	3.8
その他、意見等	6	7.5
	80	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
住民の主体性を感じない。	17	28.3
地域住民の連携がない、他者との関わりが希薄になっている	17	28.3
活動のやらされ感、一部の人たちの取り組みになっている	8	13.3
市の取り組みが充実していない、目標の動向をみて	3	5.0
その他、意見等	15	25.0
	60	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自治会活動や見守り隊やクリーン活動などの地域の主体的な活動が盛んになった	22	50.0
良くなってきたと思う	10	22.7
市の取り組みが充実してきた	6	13.6
その他、意見等	6	13.6
	44	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
地域住民の連携がない、他者との関わりが希薄になっている	10	47.6
少子高齢化の進展による活動の衰退	4	19.0
市の取り組みが充実していない	4	19.0
その他、意見等	3	14.3
	21	100.0

②5－2 地域を支えるコミュニティー機能の強化

【現在について】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自治会活動、見守り隊やクリーン活動などの地域活動が盛ん	42	51.2
そう思う	16	19.5
市の取り組みや施設が充実している	9	11.0
その他、意見等	15	18.3
	82	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
一部の人たちの取り組みになっている。若年層の参加が無いなど	22	36.1
市の取り組み、施設が不十分、情報提供の不足	17	27.9
そう思わない	14	23.0
その他、意見等	8	13.1
	61	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
住民の意識が高まってきている。地域活動が盛んになってきている。	17	50.0
そう思う	8	23.5
市の取り組みや施設が充実してきている	4	11.8
その他、意見等	5	14.7
	34	100.0

（「④あまり思わない」「⑤思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
住民モラルの低下、他者とのかかわりが希薄化している。	14	45.2
少子高齢化の進展によるコミュニティ機能の低下	7	22.6
市の取り組みや施設が不十分	6	19.4
その他、意見等	4	12.9
	31	100.0

③住民自治に根差したまち

【現在について】

（「①思う」「②やや思う」）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
自治会活動、見守り隊やクリーン活動などの地域活動が盛ん	40	60.6
市の取り組みや施設が充実している	8	12.1
そう思う	5	7.6
その他、意見等	13	19.7
	66	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
市の取り組み、情報提供などが不十分	22	36.7
一部の人の取り組み、少子高齢化の進展によるコミュニティ機能の低下	12	20.0
そう思わない	13	21.7
その他、意見等	13	21.7
	60	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
市民の意識が高まってきている。地域活動が盛んになってきている。	12	34.3
そう思う	10	28.6
市の取り組みや施設が充実してきている	8	22.9
その他、意見等	5	14.3
	35	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
少子高齢化の進展によるコミュニティ機能の低下、人間関係の希薄化	11	57.9
そう思わない	3	15.8
市の取り組みや施設が不十分	2	10.5
その他、意見等	3	15.8
	19	100.0

Ⅴ　持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

―　現在の状況と以前との比較　―

重点プログラムの狙いである**「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための都市力「都市の魅力」を備えているまち」**に対して、市民の実感を尋ねた。

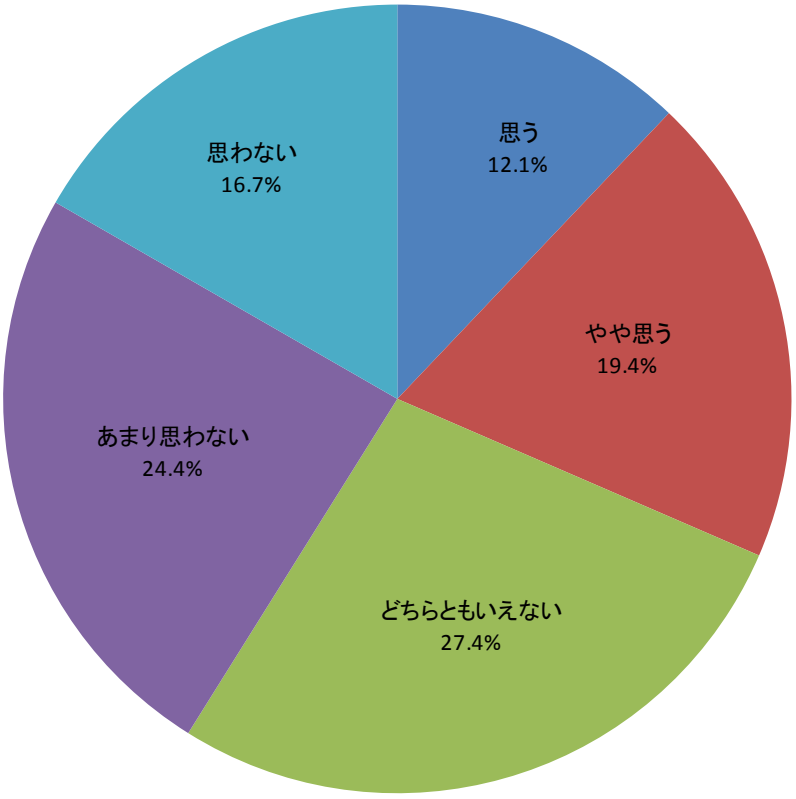
（１）持続可能な発展を遂げる都市力（全体）

①現在の状況

・「思う(12.1%)」「やや思う(19.4%)」を合わせたプラスの回答は31.5%であった。

・一方、「あまり思わない（24.4%)」「思わない(16.7%)」を合わせたマイナスの回答は41.1%で、DIは▲9.6ポイントとなり、現時点で回答者からの実感が得られていない状況だと言える。

図表Ⅴ－１　－現在の状況―（ｎ=676）



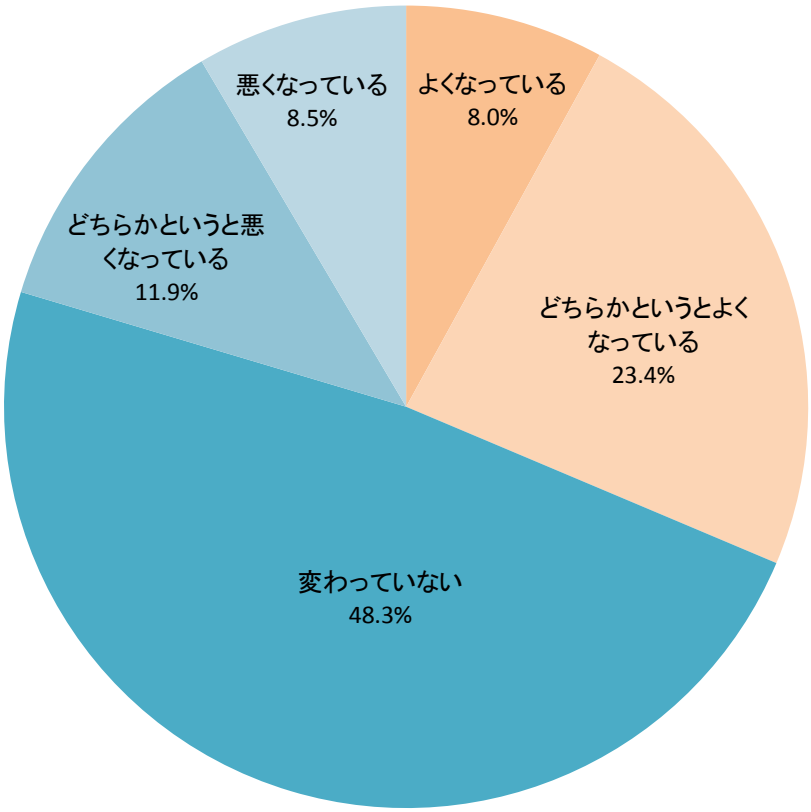
②以前との比較

・「良くなっている(8.0%)」「どちらかというと良くなっている(23.4%)」を合わせたプラスの回答割合は31.4%で現在と大きな違いがない。

・一方、「悪くなっている (8.5%)」「どちらかというと悪くなっている(11.9%)」を合わせたマイナスの回答割合は20.4%。DIは11ポイントとなり、傾向としては以前との比較では改善されていると言える。

・ただし、「変わっていない」とする回答割合が48.3%を占めており、大きな実感は得られていない状況にあると言える。

図表Ｖ－２　－以前との比較－（ｎ=578）



（２）持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について（属性別）

①男女別

【現在の状況】

・DI は、男性の▲14.5 ポイントに対し、女性は▲6.7 ポイントで、いずれもマイナスを示している。

・男性と女性では約８ポイントの開きがあり、実感に差がみられる。

【以前との比較】

・DI は、男性の 6.5 ポイント、女性は 13.3 ポイントで、どちらもプラス値を示しており、以前との比較では改善されている傾向が伺える。

・また、現在同様、男女で実感に差がみられ、女性の値が男性を上回っている。

図表Ｖ－３　現在について－男女別

男女別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全　体	676	12.1	19.4	27.4	24.4	16.7	31.5	41.1	▲ 9.6
男　性	269	13.4	16.7	25.3	24.5	20.1	30.1	44.6	▲ 14.5
女　性	396	10.9	21.5	28.5	24.5	14.6	32.4	39.1	▲ 6.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 665 件で全体とは一致しない。

図表Ｖ－４　以前との比較－男女別

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全　体	578	8.0	23.4	48.3	11.9	8.5	31.4	20.4	11.0
男　性	232	7.8	20.7	49.6	12.1	9.9	28.5	22.0	6.5
女　性	338	7.7	25.4	47.0	12.1	7.7	33.1	19.8	13.3

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 570 件で全体とは一致しない。

②年齢別

【現在の状況】

・年齢により回答傾向にばらつきがみられ、DI は 40 歳代、50 歳代でマイナス値が高く現状に対する実感が得られていない状況にある。

・一方で、29 歳以下ではプラス値を示しており、年齢により実感が異なる。

【以前との比較】

・40 歳代を除く年齢層では、DI がプラスを示している。特に若年層、高齢層の値が高く、傾向としては、以前との比較では改善されていると言える。

・一方で、現在と同様 40 歳代ではマイナスが示されており、年齢別の傾向には、ばらつきが見られる。

図表Ｖ－５　現在について－年齢別

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	676	12.1	19.4	27.4	24.4	16.7	31.5	41.1	▲ 9.6
29歳以下	77	11.7	27.3	24.7	23.4	13.0	39.0	36.4	2.6
30－39歳	94	13.8	22.3	27.7	19.1	17.0	36.1	36.1	0.0
40－49歳	108	7.4	18.5	25.9	29.6	18.5	25.9	48.1	▲ 22.2
50－59歳	120	8.3	12.5	31.7	22.5	25.0	20.8	47.5	▲ 26.7
60－69歳	132	12.1	22.0	23.5	27.3	15.2	34.1	42.5	▲ 8.4
70歳以上	133	17.3	18.0	29.3	23.3	12.0	35.3	35.3	0.0

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 664 件で全体とは一致しない。

図表Ｖ－６　以前との比較－年齢別

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)-(b)
全体	578	8.0	23.4	48.3	11.9	8.5	31.4	20.4	11.0
29歳以下	55	9.1	27.3	49.1	5.5	9.1	36.4	14.5	21.8
30－39歳	75	9.3	26.7	45.3	9.3	9.3	36.0	18.6	17.4
40－49歳	91	4.4	16.5	52.7	14.3	12.1	20.9	26.4	▲ 5.5
50－59歳	100	5.7	18.9	51.9	14.2	9.4	24.6	23.6	1.0
60－69歳	121	9.1	23.1	44.6	13.2	9.9	32.2	23.1	9.1
70歳以上	121	9.1	29.8	45.5	12.4	3.3	38.9	15.7	23.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 563 件で全体とは一致しない。

③居住地域別

【現在の状況】

・地域によって回答傾向にばらつきがみられる。

・「追浜地域」「浦賀地域」で、DI がプラスとなった。一方、マイナス値を示した地域の中では、「逸見地域」「衣笠地域」などでポイントが高く、「追浜地域」と「逸見地域」では 50 ポイント以上の大きな差がみられる。

【以前との比較】

・現在の状況で大きなマイナス値を示した「逸見地域」「衣笠地域」を除く、すべての地域で DI がプラスとなった。

・特に「追浜地域」はプラス値が高く、以前との比較においても、回答者の実感は良好な状況にあると言える。

図表Ｖ－７　現在の状況－居住地域別

年齢別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①思う	②やや思う	③どちらともいえない	④あまり思わない	⑤思わない	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	676	12.1	19.4	27.4	24.4	16.7	31.5	41.1	▲ 9.6
本庁地域	104	11.5	22.1	24.0	26.9	15.4	33.6	42.3	▲ 8.7
追浜地域	41	17.1	31.7	22.0	14.6	14.6	48.8	29.2	19.6
田浦地域	31	16.1	9.7	32.3	22.6	19.4	25.8	42.0	▲ 16.2
逸見地域	21	14.3	0.0	33.3	33.3	19.0	14.3	52.3	▲ 38.0
衣笠地域	104	6.7	17.3	21.2	32.7	22.1	24.0	54.8	▲ 30.8
大津地域	72	11.1	20.8	34.7	19.4	13.9	31.9	33.3	▲ 1.4
浦賀地域	87	14.9	20.7	29.9	21.8	12.6	35.6	34.4	1.2
久里浜地域	80	11.3	18.8	28.8	27.5	13.8	30.1	41.3	▲ 11.2
北下浦地域	50	12.0	22.0	32.0	18.0	16.0	34.0	34.0	0.0
西地域	75	12.0	18.7	24.0	22.7	22.7	30.7	45.4	▲ 14.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 665 件で全体とは一致しない。

図表Ｖ－８　以前との比較－居住地域別

地域別	件数（人）	単位（%）					（ポイント）		
		①よくなっている	②どちらかというとよくなっている	③変わっていない	④どちらかというと悪くなっている	⑤悪くなっている	(a)=①＋②	(b)=④＋⑤	D.I値 (a)－(b)
全体	578	8.0	23.4	48.3	11.9	8.5	31.4	20.4	11.0
本庁地域	86	12.8	18.6	52.3	9.3	7.0	31.4	16.3	15.1
追浜地域	35	5.7	45.7	34.3	5.7	8.6	51.4	14.3	37.1
田浦地域	25	4.0	28.0	64.0	0.0	4.0	32.0	4.0	28.0
逸見地域	20	10.0	15.0	40.0	30.0	5.0	25.0	35.0	▲ 10.0
衣笠地域	91	7.7	17.6	48.4	15.4	11.0	25.3	26.4	▲ 1.1
大津地域	62	6.5	25.8	45.2	12.9	9.7	32.3	22.6	9.7
浦賀地域	79	8.9	21.5	55.7	8.9	5.1	30.4	14.0	16.4
久里浜地域	65	4.6	29.2	38.5	16.9	10.8	33.8	27.7	6.1
北下浦地域	43	9.3	25.6	44.2	14.0	7.0	34.9	21.0	13.9
西地域	64	4.7	20.3	51.6	10.9	12.5	25.0	23.4	1.6

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 570 件で全体とは一致しない。

（３）持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について（主な回答理由）

【現在について】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
豊かな自然環境と首都圏に近接した立地環境がある	20	21.7
カレーの街など魅力的なイベントや米軍基地など他の都市にはない魅力がある	16	17.4
市の取り組みが充実している	13	14.1
そう思う	13	14.1
その他、魅力的な都市に対する意見など	30	32.6
	92	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
思わない、また市の取り組みが充実していない。	30	25.4
企業の撤退や雇用環境問題、商業施設の閉鎖などまちに活気がない	24	20.3
少子高齢化に伴う人口減少、若年層の流出	15	12.7
出産、医療環境の悪化	13	11.0
高齢者施設等の不足	9	7.6
交通利便性の悪化	4	3.4
その他、魅力的な都市に対する意見	23	19.5
	118	100.0

【以前との比較】

（「①思う」「②やや思う）

「①思う」「②やや思う」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
イベントなど集客の取り組みが充実し、メディアなどにも取り上げられている。	10	31.3
地域活動が盛んになってきて市民の意識が高まっていると感じる。	6	18.8
以前より、そう思う。	6	18.8
市の取り組みが充実してきている。	6	18.8
その他、魅力的な都市に対する意見	4	12.5
	32	100.0

（「④あまり思わない」「思わない」）

「④あまり思わない」「⑤思わない」回答理由分類	件数（人）	構成比（%）
企業の撤退や雇用環境問題、商業施設の閉鎖などまちに活気がない	20	42.6
少子高齢化に伴う人口減少、若年層の流出	10	21.3
出産、医療環境の悪化	4	8.5
思わない、また市の取り組みが充実していない。	4	8.5
その他、魅力てきな都市に対する意見	9	19.1
	47	100.0

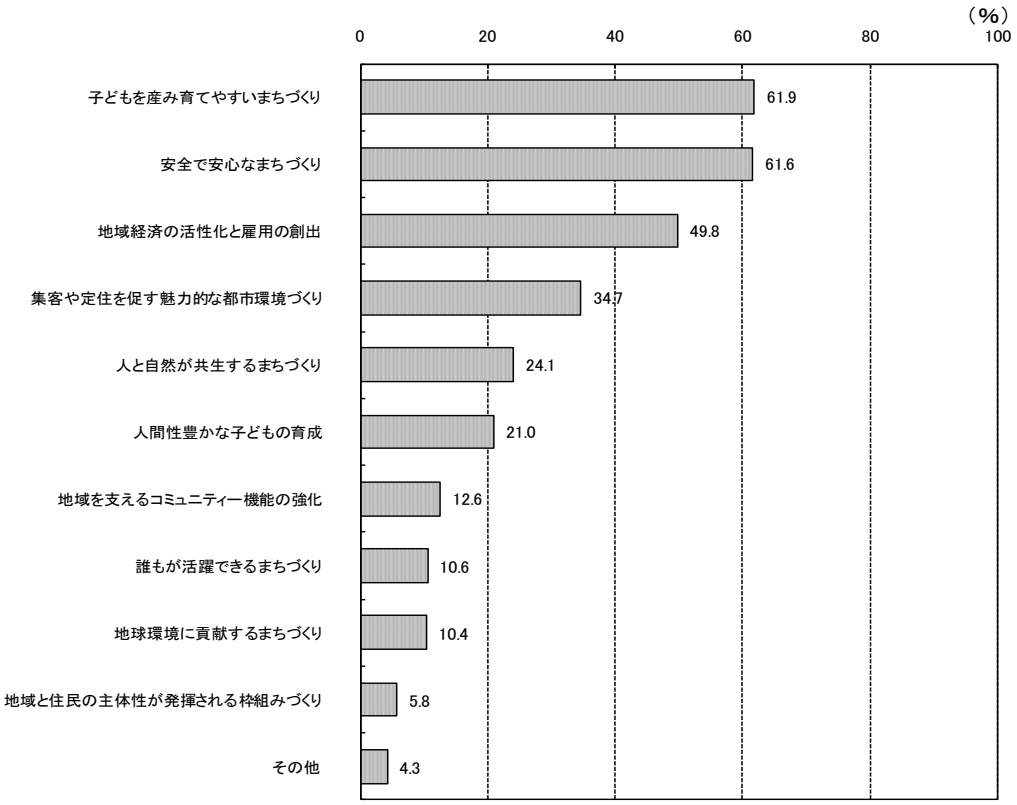
Ⅵ　持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について
ー　優先して取り組むべき政策　ー

「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策を優先して取り組むべきかについて、重点プログラムを構成する 10 項目の取り組みの方向性と「その他」の選択肢を設け尋ねた。
（複数回答３つまで）

（１）優先すべき政策（全体の傾向）

・「子どもを産み育てやすいまちづくり」が最も高く 61.9%、ほぼ同じ値で「安全で安心なまちづくり（61.6%）」が選択されている。
・選択順位別にみると、「子どもを産み育てやすいまちづくり」が１番目に優先すべき政策として４割以上の回答者から選択されており突出した傾向を示している。

図表Ⅵ－１　優先して取り組むべき課題



注）その他には、市への個別、具体的な要望等が多く含まれている。

図表Ⅵ－２　優先して取り組むべき課題（順位別）

プログラムおよび取り組みの方向性 ＼ 回答数・回答割合		全体		1番目		2番目		3番目	
		回答数	割合（%）	回答数	割合（%）	回答数	割合（%）	回答数	割合（%）
プログラム1	1－1　子どもを産み育てやすいまちづくり	451	61.9	293	40.2	96	13.3	62	8.7
	1－2　人間性豊かな子どもの育成	153	21.0	48	6.6	69	9.6	36	5.0
プログラム2	2－1　誰もが活躍できるまちづくり	77	10.6	32	4.4	21	2.9	24	3.4
	2－2　安全で安心なまちづくり	449	61.6	157	21.5	195	27.1	97	13.6
プログラム3	3－1　人と自然が共生するまちづくり	176	24.1	24	3.3	87	12.1	65	9.1
	3－2　地球環境に貢献するまちづくり	76	10.4	10	1.4	31	4.3	35	4.9
プログラム4	4－1　地域経済の活性化と雇用の創出	363	49.8	100	13.7	129	17.9	134	18.8
	4－2　集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	253	34.7	39	5.3	67	9.3	147	20.6
プログラム5	5－1　地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	42	5.8	5	0.7	13	1.8	24	3.4
	5－2　地域を支えるコミュニティー機能の強化	92	12.6	9	1.2	10	1.4	73	10.2
その他		31	4.3	12	1.6	2	0.3	17	2.4
サンプル数（N）			100.0	729	100.0	720	100.0	714	100.0

※回答は順に３つまでの複数選択のため、それぞれの回答数（n）は異なる。

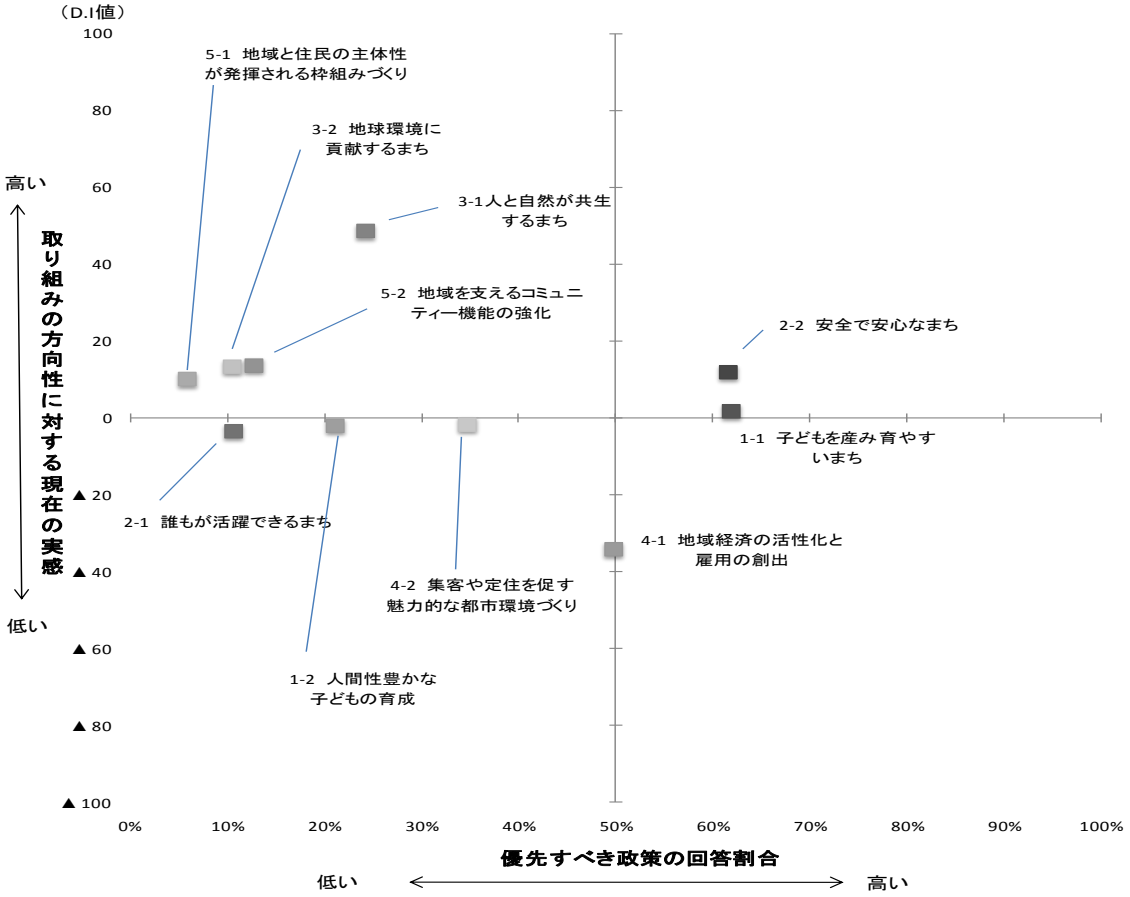
（２）優先して取り組むべき課題と取り組みの方向性に対する現在の実感について

・優先すべき課題の回答割合が高く、現在の実感が低いものは「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」。

・優先すべき課題の回答割合が最も高い値を示した「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」について、現在の実感は、ほぼ、プラスマイナスゼロの状況にある。

・他方、重点プログラム３および重点プログラム５を構成する取り組みの方向性については全て、第２象限（「現在の実感がプラス」「優先すべき政策の回答割合が低い」）に位置している。

図表Ⅵ－３　優先して取り組むべき課題×現在の状況についての散布図



（３）属性別にみた施策の方向性別の優先度

①男女別

・女性には「子どもを産み育てやすいまちづくり」「人間性豊かな子どもの育成」の子育て政策に対する回答割合が高い傾向がみられるが、それ以外の政策について男女間で大きな差はみられない。

図表Ⅵ－４　優先して取り組むべき課題－性別

単位（%）

集計軸：性別	件数（人）	子どもを産み育てやすいまちづくり	人間性豊かな子どもの育成	誰もが活躍できるまちづくり	安全で安心なまちづくり	人と自然が共生するまちづくり	地球環境に貢献するまちづくり	地域経済の活性化と雇用の創出	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	地域を支えるコミュニティー機能の強化	その他
全　体	729	61.9	21.0	10.6	61.6	24.1	10.4	49.8	34.7	5.8	12.6	4.3
男　性	287	58.5	17.8	13.6	60.6	25.4	10.8	50.5	37.6	5.9	11.1	4.5
女　性	433	64.4	23.1	8.3	62.4	23.6	10.2	48.7	33.0	5.5	13.4	4.2

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 720 件で全体とは一致しない。

②年齢別

・優先度が最も高かった「子どもを産み育てやすいまちづくり」は、特に、30 歳、40 歳代で高い割合を示している。

・「安全で安心なまちづくり」については、特に 30 歳代以下の若年層で優先割合が高い傾向がみられる。

図表Ⅵ－５　優先して取り組むべき課題－年齢別

単位（%）

集計軸：年齢	件数（人）	子どもを産み育てやすいまちづくり	人間性豊かな子どもの育成	誰もが活躍できるまちづくり	安全で安心なまちづくり	人と自然が共生するまちづくり	地球環境に貢献するまちづくり	地域経済の活性化と雇用の創出	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	地域を支えるコミュニティー機能の強化	その他
全体	729	61.9	21.0	10.6	61.6	24.1	10.4	49.8	34.7	5.8	12.6	4.3
29歳以下	91	63.7	29.7	14.3	69.2	23.1	14.3	36.3	27.5	5.5	11.0	5.5
30－39歳	100	71.0	11.0	8.0	66.0	22.0	6.0	50.0	40.0	4.0	13.0	4.0
40－49歳	118	66.9	19.5	6.8	58.5	22.0	13.6	51.7	35.6	3.4	7.6	8.5
50－59歳	131	62.6	20.6	8.4	64.1	28.2	11.5	52.7	34.4	2.3	11.5	2.3
60－69歳	141	59.6	19.1	10.6	55.3	22.7	7.1	53.9	37.6	10.6	17.0	3.5
70歳以上	138	52.9	26.1	14.5	60.1	26.1	10.9	48.6	32.6	7.2	13.8	2.9

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 719 件で全体とは一致しない。

③居住地域別

・優先度が最も高かった「子どもを産み育てやすいまちづくり」は、特に、「追浜地域」「久里浜地域」で高い割合を示している。

・「安全で安心なまちづくり」については、「田浦地域」「衣笠地域」「北下浦地域」で回答割合が高い傾向がみられる。

図表Ⅵ－６　優先して取り組むべき課題－居住地域別

単位（%）

集計軸：居住地域	件数（人）	子どもを産み育てやすいまちづくり	人間性豊かな子どもの育成	誰もが活躍できるまちづくり	安全で安心なまちづくり	人と自然が共生するまちづくり	地球環境に貢献するまちづくり	地域経済の活性化と雇用の創出	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	地域を支えるコミュニティー機能の強化	その他
全体	729	61.9	21.0	10.6	61.6	24.1	10.4	49.8	34.7	5.8	12.6	4.3
本庁地域	107	66.4	19.6	8.4	64.5	20.6	7.5	43.0	39.3	5.6	12.1	8.4
追浜地域	44	68.2	9.1	9.1	63.6	25.0	13.6	52.3	34.1	6.8	15.9	2.3
田浦地域	34	47.1	38.2	8.8	67.6	29.4	26.5	20.6	41.2	5.9	11.8	2.9
逸見地域	22	63.6	4.5	9.1	50.0	31.8	18.2	68.2	31.8	4.5	4.5	－
衣笠地域	122	63.1	19.7	9.0	67.2	21.3	11.5	58.2	27.9	6.6	10.7	2.5
大津地域	77	62.3	15.6	13.0	59.7	28.6	11.7	46.8	37.7	3.9	11.7	3.9
浦賀地域	89	60.7	21.3	7.9	58.4	27.0	10.1	48.3	37.1	5.6	16.9	4.5
久里浜地域	87	66.7	28.7	8.0	59.8	18.4	9.2	47.1	40.2	5.7	10.3	1.1
北下浦地域	56	58.9	25.0	10.7	66.1	26.8	5.4	51.8	26.8	8.9	12.5	7.1
西地域	82	56.1	22.0	19.5	53.7	26.8	6.1	54.9	32.9	3.7	14.6	6.1

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。件数(n)は 720 件で全体とは一致しない。

④世帯状況別

・「小学生未満の子どもがいる世帯」では「子どもを産み育てやすいまちづくり」「安全で安心なまちづくり」の回答割合が全体を大きく上回っている。

図表Ⅵ－７　優先して取り組むべき課題－世帯状況別

単位（%）

集計軸：世帯構成	件数（人）	子どもを産み育てやすいまちづくり	人間性豊かな子どもの育成	誰もが活躍できるまちづくり	安全で安心なまちづくり	人と自然が共生するまちづくり	地球環境に貢献するまちづくり	地域経済の活性化と雇用の創出	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	地域を支えるコミュニティー機能の強化	その他
全体	729	61.9	21.0	10.6	61.6	24.1	10.4	49.8	34.7	5.8	12.6	4.3
小学生未満の子どもがいる	53	83.0	22.6	3.8	79.2	18.9	3.8	37.7	35.8	3.8	9.4	1.9
小学生～中学生の子どもがいる	91	83.5	23.1	8.8	63.7	16.5	11.0	46.2	30.8	5.5	6.6	4.4
65歳以上の高齢者がいる	246	58.1	22.8	9.3	58.5	23.6	12.2	47.2	37.8	5.3	17.1	4.9
単身世帯（一人暮らし）	123	61.8	15.4	16.3	57.7	25.2	5.7	49.6	38.2	10.6	9.8	5.7
上記以外	244	56.6	21.7	10.2	61.9	27.5	10.7	53.7	32.4	4.9	12.3	3.7

※各項目の回答割合は、「わからない」「無回答」を除いて算出している。複数回答のため件数(n)は 757 件で全体とは一致しない。

Ⅶ　横須賀市の魅力やイメージについて

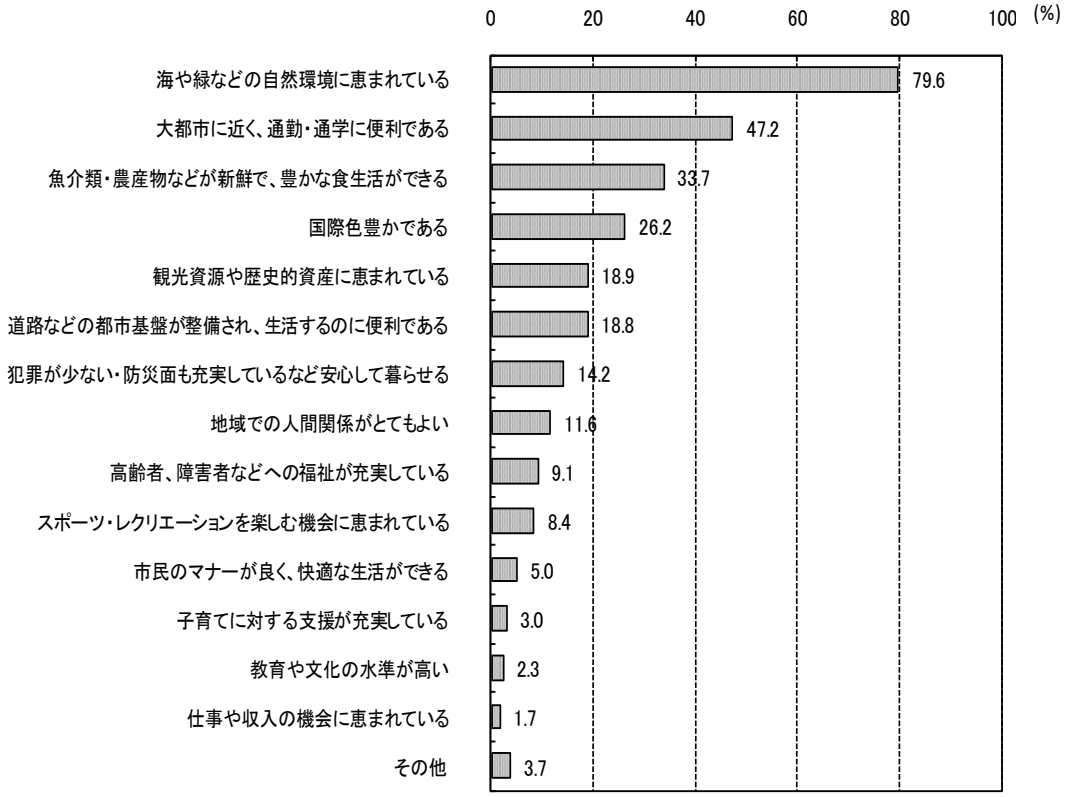
（１）横須賀の魅力について

問 18　あなたにとって横須賀の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。
次の中からあてはまるものを順に３つまで選んでください。

> 本市の魅力として８割近くの回答者が「海や緑などの自然環境に恵まれている」を選択した（複数回答）。

・「海や緑などの自然環境に恵まれている」が 79.6%と最も多く、次いで、「大都市に近く、通勤・通学に便利である」（47.2%）、「魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」（33.7%）、「国際色豊かである」（26.2%）などが多く挙げられている。

（図表Ⅶ－1　横須賀の魅力的なところ　n＝751）



【属性別の傾向】

①年齢別（図表Ⅰ-3）

・全体の、回答割合が最も高い、「海や緑などの自然環境に恵まれている」は、50 歳代後以上で多く選択されている。

一方、29 歳以下では、選択の割合は６割台で傾向に大きな違いがみられる。

・30 歳代以下では「国際色豊かである」が、強く魅力として捉えられている傾向がみられる。

（図表Ⅰ－3　横須賀の魅力的なところ　年齢別　n＝737）

単位(%)

集計軸：年齢	件数（人）	教育や文化の水準が高い	子育てに対する支援が充実している	高齢者、障害者などへの福祉が充実している	道路などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である	スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている	犯罪が少ない・防災面も充実しているなど安心して暮らせる	大都市に近く、通勤・通学に便利である	仕事や収入の機会に恵まれている	海や緑などの自然環境に恵まれている	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	観光資源や歴史的資産に恵まれている	国際色豊かである	市民のマナーが良く、快適な生活ができる	地域での人間関係がとてもよい
全体	751	2.3	3.0	9.1	18.8	8.4	14.2	47.2	1.7	79.6	33.7	18.9	26.2	5.0	11.6
15-19歳	34	6.1	3.0	9.1	18.2	6.1	18.2	30.3	3.0	60.6	30.3	30.3	39.4	18.2	15.2
20-29歳	57	0.0	5.4	8.9	25.0	5.4	16.1	51.8	0.0	66.1	32.1	17.9	42.9	3.6	1.8
30-39歳	101	4.0	4.0	5.9	14.9	4.0	15.8	41.6	1.0	80.2	31.7	25.7	42.6	4.0	6.9
40-49歳	119	0.9	1.7	6.0	14.5	8.5	12.0	47.0	0.9	78.6	34.2	21.4	29.1	6.0	9.4
50-59歳	135	0.8	3.1	7.7	20.0	10.0	10.0	50.0	2.3	81.5	33.8	15.4	20.8	6.2	13.1
60-69歳	145	2.1	5.6	12.6	23.8	8.4	14.7	48.3	3.5	82.5	35.0	16.1	16.8	2.1	16.8
70歳以上	146	4.4	0.0	12.5	16.9	11.0	16.9	47.8	0.7	84.6	36.0	16.9	16.9	4.4	13.2

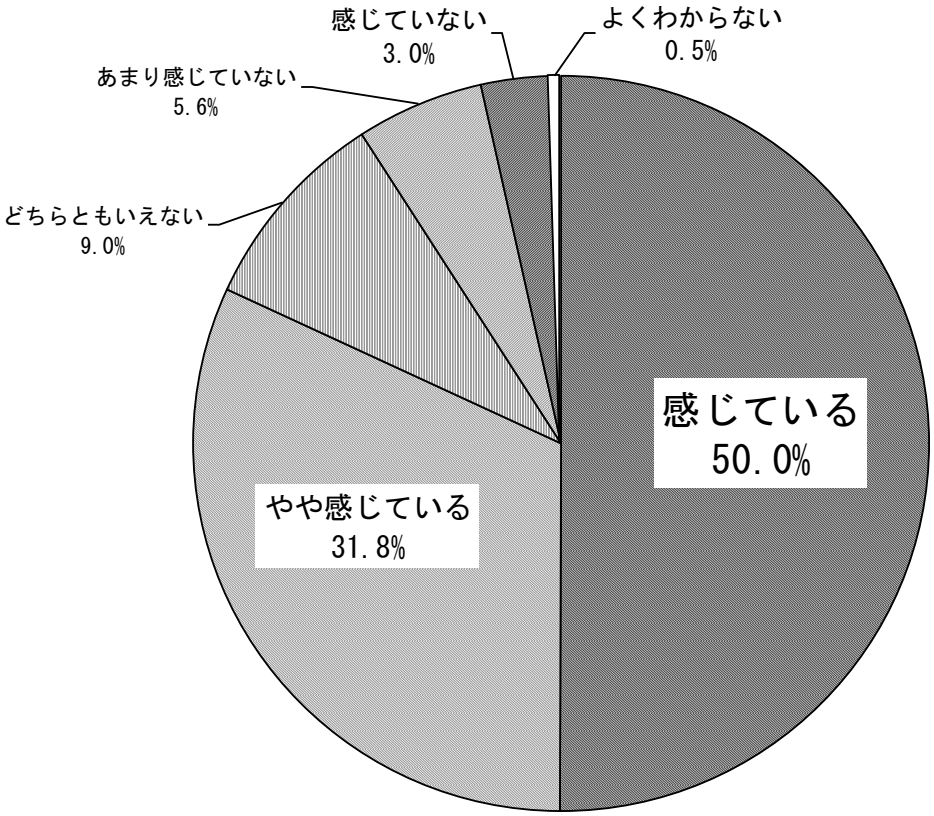
※年齢別のサンプル数は件で全体数（年齢不詳を含む）とは異なる。

（２）横須賀市への愛着について

問 19　あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じますか。次の中からあてはまるものを１つだけ選んでください。

回答者の８割以上が、横須賀市に愛着を感じている。

（図表Ⅶ－2　横須賀市への愛着　n＝730）



【属性別の傾向】

①年齢別（図表Ⅶ-3）

・20 歳代、50 歳代の年齢層で「感じている」「やや感じている」の合計割合が低く、60 歳代の年齢層では高い傾向がみられる。

（図表Ⅶ - 3　横須賀市への愛着　年齢別　n＝720）

単位(%)

集計軸:年齢	件数(人)	感じている(A)	やや感じている(B)	(A)+(B)	どちらともいえない	あまり感じていない(C)	感じていない(D)	(C)+(D)	よくわからない
全体	730	50.0	31.8	81.8	9.0	5.6	3.0	8.6	0.5
15-19歳	34	58.8	26.5	85.3	5.9	0.0	8.8	8.8	0.0
20-29歳	57	35.1	35.1	70.2	14.0	7.0	7.0	14.0	1.8
30-39歳	101	54.5	28.7	83.2	9.9	5.9	1.0	6.9	0.0
40-49歳	118	48.3	34.7	83.0	5.1	6.8	3.4	10.2	1.7
50-59歳	131	41.2	38.2	79.4	10.7	6.9	3.1	10.0	0.0
60-69歳	141	55.3	31.9	87.2	7.8	3.5	1.4	4.9	0.0
70歳以上	138	55.8	26.1	81.9	10.9	3.6	2.9	6.5	0.7

※年齢別のサンプル数は 720 件で全体数（年齢不詳を含む）とは異なる。

②地域別（図表Ⅶ-4）

・「北下浦地域」「追浜地域」「久里浜地域」などで「感じている」「やや感じている」の合計割合が高い値を示している。

・一方「逸見地域」「衣笠地域」「田浦地域」では低い傾向がみられる。

（図表Ⅱ - 4　横須賀市への愛着　地域別　n＝721）

単位(%)

集計軸:居住地域	件数(人)	感じている(A)	やや感じている(B)	(A)+(B)	どちらともいえない	あまり感じていない(C)	感じていない(D)	(C)+(D)	よくわからない
全体	730	50.0	31.8	81.8	9.0	5.6	3.0	8.6	0.5
本庁地域	109	56.0	27.5	83.5	8.3	4.6	3.7	8.3	0.0
追浜地域	43	51.2	34.9	86.1	9.3	2.3	2.3	4.6	0.0
田浦地域	34	44.1	35.3	79.4	17.6	2.9	0.0	2.9	0.0
逸見地域	22	50.0	27.3	77.3	9.1	4.5	9.1	13.6	0.0
衣笠地域	119	47.1	31.1	78.2	9.2	9.2	1.7	10.9	1.7
大津地域	77	50.6	32.5	83.1	7.8	5.2	1.3	6.5	2.6
浦賀地域	90	42.2	35.6	77.8	14.4	3.3	4.4	7.7	0.0
久里浜地域	88	50.0	35.2	85.2	5.7	6.8	2.3	9.1	0.0
北下浦地域	56	53.6	33.9	87.5	7.1	3.6	1.8	5.4	0.0
西地域	83	54.2	27.7	81.9	7.2	4.8	6.0	10.8	0.0

※年齢別のサンプル数は 721 件で全体数（居住地域不詳を含む）とは異なる。

（３）横須賀市のイメージについて

問 20　あなたが考える横須賀市のイメージについて、次の中からあてはまるものを順に３つまで選び、現在の都市イメージを（Ａ欄）に、また、望ましい都市イメージを（Ｂ欄）にそれぞれ記入してください。

（１）現在の都市イメージ

９割近くの回答者が「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」を選択。

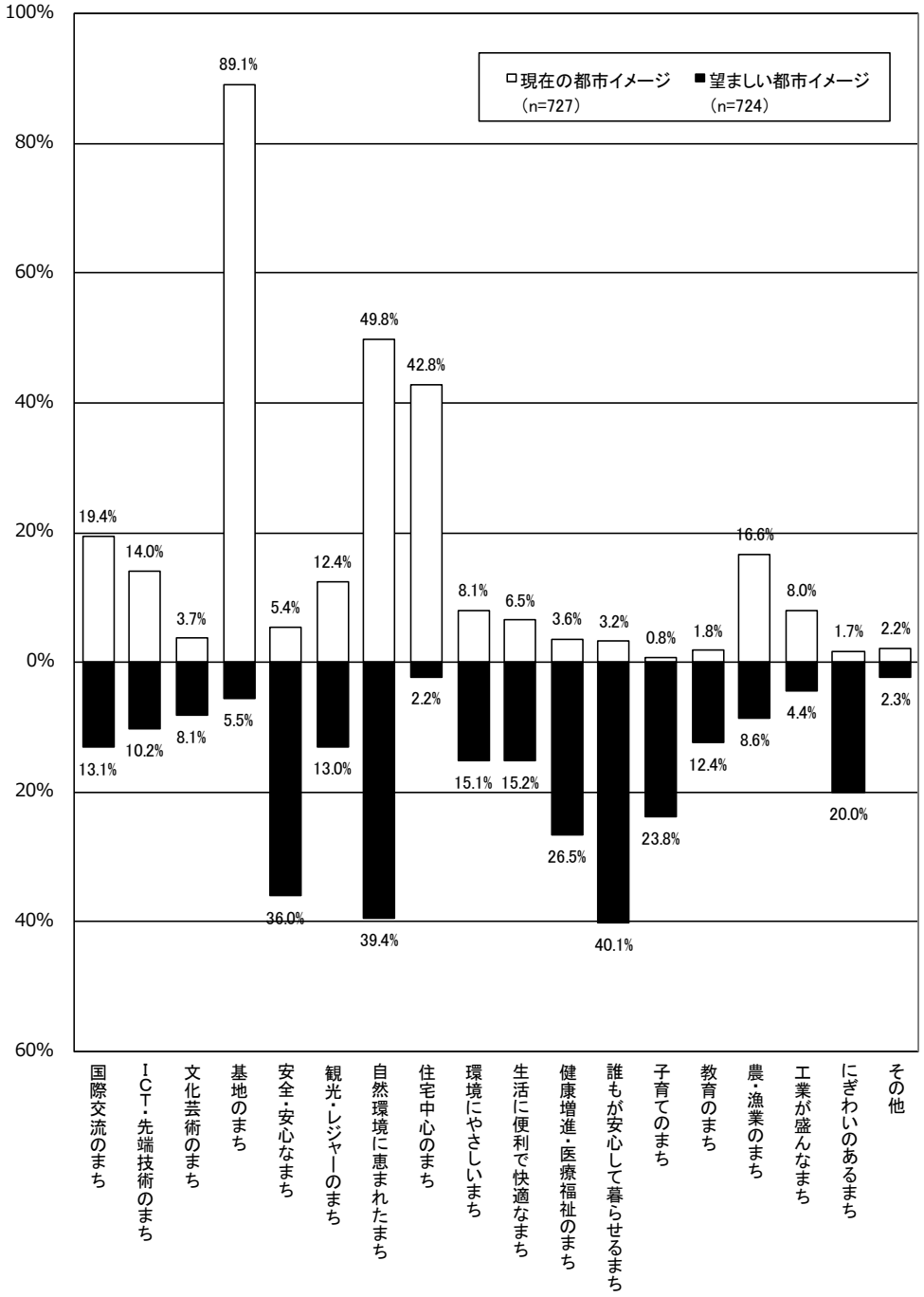
・「米軍基地・自衛隊がある『基地のまち』」が 89.1%で、他の項目と比較して突出して高い値となっている。
・次いで「豊かな自然が残されている『自然環境に恵まれたまち』」(49.8%)、「首都圏への通勤者が多い『住宅中心のまち』」(42.8%) の順に選択された。

（２）望ましい都市イメージ

「「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』」、防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』」など安全で安心な暮らしを望む傾向が強い。

・「高齢者・障害者をはじめとした『誰もが安心して暮らせるまち』(40.1%)」「豊かな自然が残されている『自然環境に恵まれたまち』(39.4%)」「防犯・防災体制が整った『安全・安心なまち』(36.0%)」が高い割合を示した。
・東日本大震災が発生した後の調査であり、安全で安心な暮らしを望む傾向が強く表れたと考えられる。

（図Ⅱ - 5　現在の都市イメージと望ましい都市イメージ　n=）　複数回答可



Ⅶ 基本的な属性(F1～F5)

（１）性別（Ｆ１）

回答数	件数（人）	構成比（%）
全　体	751	100.0
男　性	297	39.5
女　性	441	58.7
無回答	13	1.7

（２）年齢（Ｆ２）

回答数	件数（人）	構成比（%）
全　体	751	100.0
15-19歳	34	4.5
20-29歳	57	7.6
30-39歳	101	13.4
40-49歳	119	15.8
50-59歳	135	18.0
60-69歳	145	19.3
70歳以上	146	19.4
無回答	14	1.9

（３）居住地域（Ｆ３）

回答数	件数（人）	構成比（%）
全　体	751	100.0
本庁地域	110	14.6
追浜地域	45	6.0
田浦地域	35	4.7
逸見地域	23	3.1
衣笠地域	123	16.4
大津地域	78	10.4
浦賀地域	95	12.6
久里浜地域	90	12.0
北下浦地域	56	7.5
西地域	83	11.1
無回答	13	1.7

（４）職業（Ｆ４）

回答数	件数（人）	構成比（%）
全体	751	
農林漁業	2	0.3
商店・工務店・工場等	14	1.9
サービス業	13	1.7
事務職・専門職・管理職	119	15.8
販売／サービス	63	8.4
保安・運輸／通信・建設／労務	30	4.0
自由業	5	0.7
家事専業	134	17.8
アルバイト・パートタイマー・派遣社員	116	15.4
学　生	43	5.7
無　職	182	24.2
その他	17	2.3
無回答	13	1.7

（５）世帯の状況（Ｆ５）

回答数	件数（人）	構成比（%）
全体	790	100.0
小学生未満の子どもがいる	54	6.8
小学生～中学生の子どもがいる	92	11.6
６５歳以上の高齢者がいる	256	32.4
単身世帯（一人暮らし）	123	15.6
該当なし	251	31.8
無回答	14	1.8

基本計画重点プログラム
市民アンケート

質問・回答用紙

◇　こちらの用紙には、アンケートの質問と回答欄があります。
◇　各設問の理由欄について、特にない場合は記入不要です。
◇　ご回答いただく際には、別冊の「基本計画重点プログラム市民アンケート参考資料」を参考にしてください。
◇　回答欄にご記入の上、３つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、平成２３年５月 31 日（火）までにご投函ください。
◇　本調査結果は、市ホームページなどで公表しますが、「アンケート調査結果報告書」の送付を希望される場合は、返信用封筒の裏面に住所・氏名を記載してください。

重点プログラム１　『新しい芽を育む』
～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

➡ 参考資料３ページ～７ページをご覧ください

問１　横須賀市は「**子どもを産み育てやすいまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢１-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢１-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢１-(1)
①　思う　②　やや思う　③　どちらともいえない　④　あまり思わない　⑤　思わない
⑥　わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢１-(2)
①・よくなっている　②　どちらかというとよくなっている　③　変わっていない
④　どちらかというと悪くなっている　⑤　悪くなっている　⑥　わからない

問２　横須賀市は、「**人間性豊かな子どもの育成**」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢２-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢２-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢２-(1)
①　思う　②　やや思う　③　どちらともいえない　④　あまり思わない　⑤　思わない
⑥　わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢２-(2)
①・よくなっている　②　どちらかというとよくなっている　③　変わっていない
④　どちらかというと悪くなっている　⑤　悪くなっている　⑥　わからない

重点プログラム１　『新しい芽を育む』について

「重点プログラム１」では、子どもを生み育てやすく、子ども自身が健やかに成長する環境をつくるとともに、教育環境を充実させることで、「次代を担う新しい芽が育まれる都市の実現」を目指しています。

問３　横須賀市は「**次代を担う新しい芽が育まれるまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢３－(1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢３－(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄［　　］　理由［　　］

選択肢３－(1)
①　思う　②　やや思う　③　どちらともいえない　④　あまり思わない　⑤　思わない
⑥　わからない

以前との比較において　回答欄［　　］　理由［　　］

選択肢３－(2)
①・よくなっている　②　どちらかというとよくなっている　③　変わっていない
④　どちらかというと悪くなっている　⑤　悪くなっている　⑥　わからない

重点プログラム２『命を守る』
～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

➡ **参考資料８ページ～１２ページをご覧ください**

問４ 横須賀市は、「**誰もが活躍できるまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢４-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢４-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢４-(1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢４-(2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

問５ 横須賀市は、「**安全で安心なまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢５-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢５-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢５-(1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢５-(2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

重点プログラム２　『命を守る』について

「重点プログラム２」では、全ての市民がそれぞれの可能性や能力を発揮しながら、いきいき暮らせる場や機会を充実させるとともに、安全で安心して暮らせる生活環境を整備することで、「生きがいに満ちあふれ命を大切にする都市の実現」を目指しています。

問６　横須賀市は、**「生きがいに満ちあふれ命を大切にするまち」**だと思いますか。
現在について、選択肢６-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢６-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	

選択肢６-(1)
①　思う　②　やや思う　③　どちらともいえない　④　あまり思わない　⑤　思わない
⑥　わからない

以前との比較において	回答欄		理由	

選択肢６-(2)
①　よくなっている　②　どちらかというとよくなっている　③　変わっていない
④　どちらかというと悪くなっている　⑤　悪くなっている　⑥　わからない

重点プログラム３　『環境を守る』
～人と自然と共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

➡ **参考資料１３ページ～１７ページをご覧ください**

問７　横須賀市は、「**人と自然が共生するまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢７-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢７-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢７-(1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢７-(2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

問８　横須賀市は、「**地球環境に貢献するまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢８-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、
選択肢８-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢８-(1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢８-(2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

重点プログラム３『環境を守る』について

「重点プログラム３」では、豊かな自然を守り育むとともに、地球規模の環境問題に配慮したまちづくりを推進することで、「環境と調和した潤いのある都市の実現」を目指しています。

問９　横須賀市は、**「環境と調和した潤いのあるまち」**だと思いますか。
現在について、選択肢９-(1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢９-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄　　理由

選択肢９-(1)
①　思う　②　やや思う　③　どちらともいえない　④　あまり思わない　⑤　思わない
⑥　わからない

以前との比較において　回答欄　　理由

選択肢９-(2)
①　よくなっている　②　どちらかというとよくなっている　③　変わっていない
④　どちらかというと悪くなっている　⑤　悪くなっている　⑥　わからない

重点プログラム４『にぎわいを生む』
～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

➡ **参考資料１８ページ～２２ページをご覧ください**

問 10　横須賀市は、「**地域経済の活性化と雇用の創出**」が図られているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 10 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 10 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	

選択肢 10 - (1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において	回答欄		理由	

選択肢 10 - (2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

問 11　横須賀市は、「**集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり**」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 11 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 11 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	

選択肢 11 - (1)
①・思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において	回答欄		理由	

選択肢 11 - (2)
①・よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

重点プログラム４『にぎわいを生む』について

「重点プログラム４」では、持続可能な産業構造や利便性の高い都市構造の構築を図るとともに、地域資源を生かした新たなまちの魅力を創出し、「にぎわいと活力に満ちた都市の実現」を目指しています。

問 12　横須賀市は「**にぎわいと活力に満ちたまち**」だと思いますか。
現在について、選択肢 12 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 12 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢 12 - (1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢 12 - (2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

重点プログラム５『地域力を育む』
～地域と住民の主体性が発揮させる枠組みづくり・地域を支えるコミュニティー機能の強化～

➡ **参考資料　２３ページ～２５ページをご覧ください**

問 13　横須賀市は、「**地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり**」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 13 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 13 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	

選択肢 13 - (1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において	回答欄		理由	

選択肢 13 - (2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

問 14　横須賀市は、「**地域を支えるコミュニティー※機能の強化**」が図られているまちだと思いますか。
現在について、選択肢 14 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 14 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

※コミュニティー：同じ地域に暮らし、協力して地域の課題に取り組む人々の集まり。

現在について	回答欄		理由	

選択肢 14 - (1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において	回答欄		理由	

選択肢 14 - (2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

重点プログラム５『地域力を育む』について

「重点プログラム５」では、それぞれの地域が、自らの課題に対応するとともに、個性や特色を生かしながら住民が主体になってまちの在り方を決める、「住民自治に根差した都市の実現」を目指しています。

問 15　横須賀市は、**「住民自治に根差したまち」**だと思いますか。
現在について、選択肢 15 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 15 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢 15 - (1)
① 思う　② やや思う　③ どちらともいえない　④ あまり思わない　⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較において　回答欄 [　　]　理由 [　　]

選択肢 15 - (2)
① よくなっている　② どちらかというとよくなっている　③ 変わっていない
④ どちらかというと悪くなっている　⑤ 悪くなっている　⑥ わからない

『持続可能な発展を遂げる都市力について』

今日、多くの自治体がそうであるように、横須賀市も人口減少や少子高齢化などの都市の持続的な発展を妨げる課題に直面しています。

これまでの設問では、この厳しい状況下で着実に成長できるための土台づくり、また、全政策・施策の先導役として基本計画に位置付けた「５つの重点プログラム」に関して、皆さまの実感をお伺いしてきました。

問 16　重点プログラムに関する設問の最後に皆さまにお聞きします。

横須賀市は、人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、**着実に成長できるための「都市力（都市の魅力）」を備えているまち**だと思いますか。

現在について、選択肢 16 - (1)から、以前（４～５年前）との比較において、選択肢 16 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について	回答欄		理由	

選択肢 16 - (1)

①・思う　②　やや思う　③　どちらともいえない　④　あまり思わない　⑤　思わない

⑥　わからない

以前との比較において	回答欄		理由	

選択肢 16 - (2)

①　よくなっている　②　どちらかというとよくなっている　③　変わっていない

④　どちらかというと悪くなっている　⑤　悪くなっている　⑥　わからない

問 17　人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀が着実に成長できるためのために、今後、市はどのような政策を優先して取り組むべきだと思いますか。

　下記の選択肢からあてはまるものを優先すべき順に３つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。

なお、⑪その他を選んだ場合は、四角の中にその内容を記入してください。

① 子どもを産み育てやすいまちづくり
② 人間性豊かな子どもの育成
③ 誰もが活躍できるまちづくり
④ 安全で安心なまちづくり
⑤ 人と自然が共生するまちづくり
⑥ 地球環境に貢献するまちづくり
⑦ 地域経済の活性化と雇用の創出
⑧ 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり
⑨ 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり
⑩ 地域を支えるコミュニティー機能の強化
⑪ その他

問 17 回答欄

１番目	２番目	３番目	「⑪その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

『横須賀市の魅力やイメージついて』

『横須賀市の魅力やイメージ』についてお聞きします。

問 18　あなたにとって横須賀の魅力的なところとは、どのようなところだと思いますか。次の中から魅力的だと思う順に３つまで選んでください。

①教育や文化の水準が高い
②子育てに対する支援が充実している
③高齢者、障害者などへの福祉が充実している
④道路、公園などの都市基盤が整備され、生活するのに便利である
⑤身近でスポーツ・レクリエーションを楽しむ機会に恵まれている
⑥犯罪が少ない・防災面も充実しているなど安心して暮らせる
⑦大都市に近く、通勤・通学に便利である
⑧仕事や収入の機会に恵まれている
⑨海や緑などの自然環境に恵まれている
⑩魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる
⑪観光資源や歴史的資産に恵まれている
⑫国際色豊かである
⑬市民のマナーが良く、快適な生活ができる
⑭地域での人間関係がとてもよい
⑮その他（具体的にお書きください）

問 18 回答欄

１番目	２番目	３番目	「⑮その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

問 19　あなたは横須賀市に自分のまちとしての愛着を感じますか。次の中からあてはまるものを１つだけ選んでください。

①感じている　②やや感じている　③どちらともいえない　④あまり感じていない
⑤感じていない　⑥よくわからない

問 19 回答欄

問 20　あなたが考える横須賀市のイメージについて、次の中からあてはまるものをそれぞれ３つまで選び、「現在の都市イメージを（Ａ欄）に、また、望ましい都市イメージを（Ｂ欄）」記入してください。

①外国人との交流が盛んな「国際交流のまち」
②さまざまな分野の研究開発機関が集積する「ＩＣＴ（情報通信技術）・先端技術のまち」
③芸術・文化活動が盛んな「文化芸術のまち」
④米軍基地・自衛隊がある「基地のまち」
⑤防犯・防災体制が整った「安全・安心なまち」
⑥市外から多くの人が訪れる「観光・レジャーのまち」
⑦豊かな自然が残されている「自然環境に恵まれたまち」
⑧首都圏への通勤者が多い「住宅中心のまち」
⑨ごみのリサイクルや地球温暖化対策など「環境にやさしいまち」
⑩道路、公園など都市基盤の整った「生活に便利で快適なまち」
⑪健康づくりのための施設や医療機関が充実した「健康増進・医療福祉のまち」
⑫高齢者・障害者をはじめとした「誰もが安心して暮らせるまち」
⑬保育所など子育て環境が充実した「子育てのまち」
⑭学校教育が充実した「教育のまち」
⑮農業・漁業が盛んな「農・漁業のまち」
⑯自動車産業など「工業が盛んなまち」
⑰商業施設が充実した「にぎわいのあるまち」
⑱その他（ご自由にお書きください）

問 20　回答欄

Ａ欄 （現在の都市ｲﾒｰｼﾞ）	１番目	２番目	３番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい
Ｂ欄 （望ましい都市ｲﾒｰｼﾞ）	１番目	２番目	３番目	「⑱その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

あなた自身のことについてうかがいます

※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。
全員の方がお答えください。

次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。

Ｆ１　＜性別＞

① 男性　② 女性　　回答欄 □

Ｆ２　＜年齢＞

① 15～19 歳　② 20～29 歳　③ 30～39 歳　④ 40～49 歳
⑤ 50～59 歳　⑥ 60～69 歳　⑦ 70 歳以上　　回答欄 □

Ｆ３　＜お住まいの地域＞　（次ページに地域別一覧表があります。ご参照ください。）

① 本庁地域　② 追浜地域　③ 田浦地域　④ 逸見地域
⑤ 衣笠地域　⑥ 大津地域　⑦ 浦賀地域　⑧ 久里浜地域
⑨ 北下浦地域　⑩ 西地域　　回答欄 □

Ｆ４　＜職業＞

① 農林漁業
② 自営（商店・工務店・工場等）
③ 自営（サービス業）
④ 会社員・公務員（事務職・専門職・管理職）
⑤ 会社員・公務員（販売／サービス）
⑥ 会社員・公務員（保安・運輸／通信・建設／労務）
⑦ 自由業
⑧ 家事専業
⑨ アルバイト・パートタイマー・派遣社員
⑩ 学生
⑪ 無職
⑫ その他

回答欄 □

Ｆ５　＜世帯の状況＞　（複数回答可）

① 小学生未満の子どもがいる
② 小学生～中学生の子どもがいる
③ 65 歳以上の高齢者がいる
④ 単身世帯（一人暮らし）
⑤ ①～④に該当なし

回答欄 □

ご協力ありがとうございました。

地域別一覧表

（ 町 名）	（地域別）
稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町	①本庁地域
浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台	②追浜地域
田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘	③田浦地域
安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町	④逸見地域
阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎	⑤衣笠地域
池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸	⑥大津地域
浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀町、二葉、南浦賀、吉井	⑦浦賀地域
岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台	⑧久里浜地域
粟田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘	⑨北下浦地域
秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台	⑩西地域

基本計画重点プログラム市民アンケート報告書

発行年月：平成 23 年（2011 年） ９月
編集・発行　横須賀市政策推進部政策推進課（都市政策研究所）
〒238-8550
横須賀市小川町 11 番地
電話０４６－８２２－８２５８
HP： http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/